

**教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に関する点検・評価報告書  
(令和7年度対象)**

**令和8年9月  
新潟市教育委員会**

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき令和7年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

## — 目次 —

### I 教育委員会の活動状況について

- 1 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・5

### II 新潟市教育振興基本計画の進捗状況について

- 1 新潟市教育振興基本計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 2 新潟市教育振興基本計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 3 新潟市教育振興基本計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 4 新潟市教育振興基本計画の進行管理（評価）・・・・・・・・・・・・・・8
- 5 令和7年度の進捗状況総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 6 新潟市教育振興基本計画 施策指標・取組指標の進捗状況一覧・・・・・・・・12
- 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧・・・・・・・・・・・・16

#### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## I 教育委員会の活動状況について

### 1 教育委員会会議の開催状況

#### ○新潟市教育委員会定例会

|        |        |                                                              |
|--------|--------|--------------------------------------------------------------|
| 4月定例会  | 議案第1号  | 令和8年度使用新潟市立小学校用教科用図書採択に関する基本方針について                           |
|        | 議案第2号  | 令和8年度使用新潟市立中学校用教科用図書採択に関する基本方針について                           |
|        | 議案第3号  | 令和8年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書採択に関する基本方針について                  |
|        | 議案第4号  | 令和8年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用教科用図書採択に関する基本方針について                 |
|        | 議案第5号  | 令和8年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針について                          |
|        | 議案第6号  | 令和8年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針について                  |
| 5月定例会  | 議案第7号  | 令和7年6月議会定例会の議案について                                           |
|        | 議案第8号  | 教職員の人事措置について                                                 |
|        | 議案第9号  | 教職員の人事措置について                                                 |
| 6月定例会  | —      | 報告案件のみ                                                       |
| 7月定例会  | 議案第10号 | 小合小学校と小合東小学校の統合について                                          |
|        | 議案第11号 | 令和8年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用一般図書の採択について                         |
|        | 議案第12号 | 教職員の人事措置について                                                 |
| 8月定例会  | 議案第13号 | 通学区域の一部変更について                                                |
|        | 議案第14号 | 令和8年度使用新潟市立高等学校用教科用図書および令和8年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書の採択について |
|        | 議案第15号 | 新潟市立高志中等教育学校学則の一部改正について                                      |
|        | 議案第16号 | 令和7年9月議会定例会の議案について                                           |
|        | 議案第17号 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価（案）について                            |
|        | 議案第18号 | 新潟市立夜間中学の設置候補場所・設置予定時期について                                   |
| 9月定例会  | —      | 報告案件のみ                                                       |
| 10月定例会 | —      | 報告案件のみ                                                       |

|        |        |                             |
|--------|--------|-----------------------------|
| 11月定例会 | 議案第19号 | 通学区域の一部変更について               |
|        | 議案第20号 | 令和7年12月議会定例会の議案について         |
|        | 議案第21号 | 教職員の人事措置について                |
| 12月定例会 | －      | 報告案件のみ                      |
| 1月定例会  | －      | 報告案件のみ                      |
| 2月定例会  | 議案第22号 | 令和8年2月議会定例会の議案について          |
|        | 議案第23号 | 市立学校園長の人事について               |
|        | 議案第24号 | 教職員の人事措置について                |
| 3月定例会  | 議案第25号 | 新潟市重大事態調査第三者委員会規則の制定について    |
|        | 議案第26号 | 新潟市いじめ防止対策等専門委員会規則の一部改正について |
|        | 議案第27号 | 新潟市学校運営協議会規則の一部改正について       |
|        | 議案第28号 | 事務局及び機関の長の人事について            |
|        | 議案第29号 | 教職員の人事措置について                |
|        | 議案第30号 | 職員の人事措置について                 |

### ○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会 議 に つ い て 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載  
会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載

- ・地教行法等に基づき、新潟市では教育委員会定例会を毎月開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和7年度は12回の会議（定例会12回）を開催しました。  
（付議事件30件、報告案件42件）
- ・重要な案件については、教育委員会定例会の付議事件とする前に協議会の場において事前協議を行い、十分な検討を重ねています。（協議会案件1件）

## 2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況

### ○意見交換会・懇談会

|             |           |
|-------------|-----------|
| 令和7年5月、8年1月 | 区教育ミーティング |
| 令和8年3月      | 総合教育会議    |

### ○学校視察

|                |                        |
|----------------|------------------------|
| 令和7年7月         | 現状把握・授業参観（小学校8校、中学校5校） |
| 令和7年5月～令和7年12月 | 学校運営協議会（小学校6校、中学校3校）   |
| 令和7年11月        | 現状把握・授業参観（小学校6校、中学校5校） |

### ○指定都市教育委員会協議会・他団体関係

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 令和7年7月 | 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会    |
| 令和8年1月 | 都道府県・指定都市教育委員研究協議会（オンライン） |

## Ⅱ 新潟市教育振興基本計画の進捗状況について

### 1 新潟市教育振興基本計画の位置付け

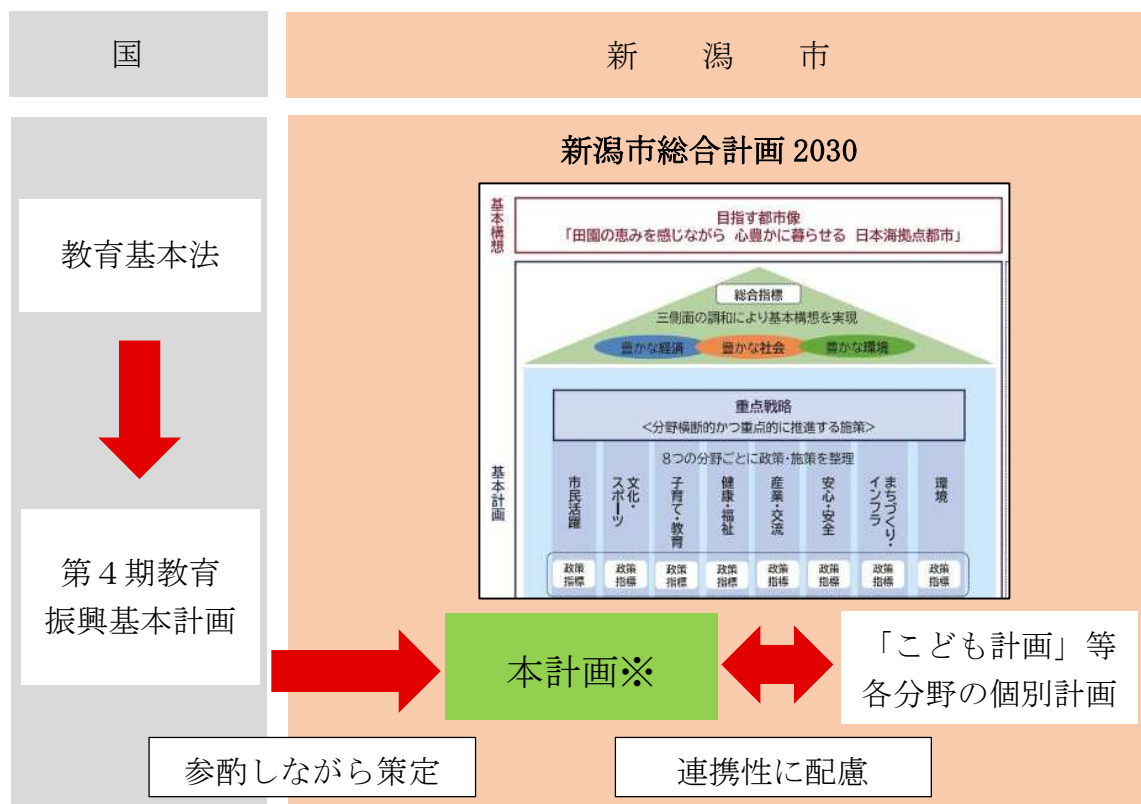
#### (1) 法令上の位置付け

本計画は、教育基本法第17条第2項に規定されている「地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として策定します。なお、国では、今後の教育施策の方向性を示す「第4期教育振興基本計画」が令和5（2023）年6月に閣議決定されており、本計画は、同計画を参酌しています。

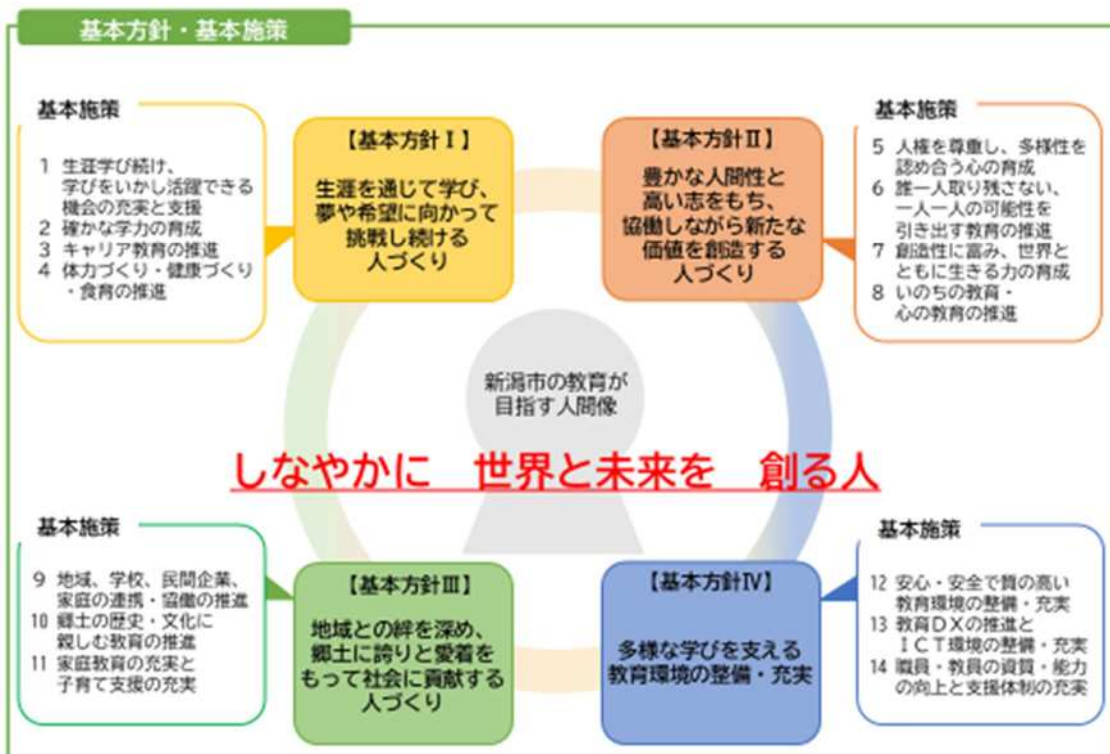
#### (2) 新潟市の各種計画との関係

本市では、最上位計画として令和5（2023）年度に「新潟市総合計画 2030」を策定し、目指す姿（都市像）の実現に向けたまちづくりの方向性を示しています。

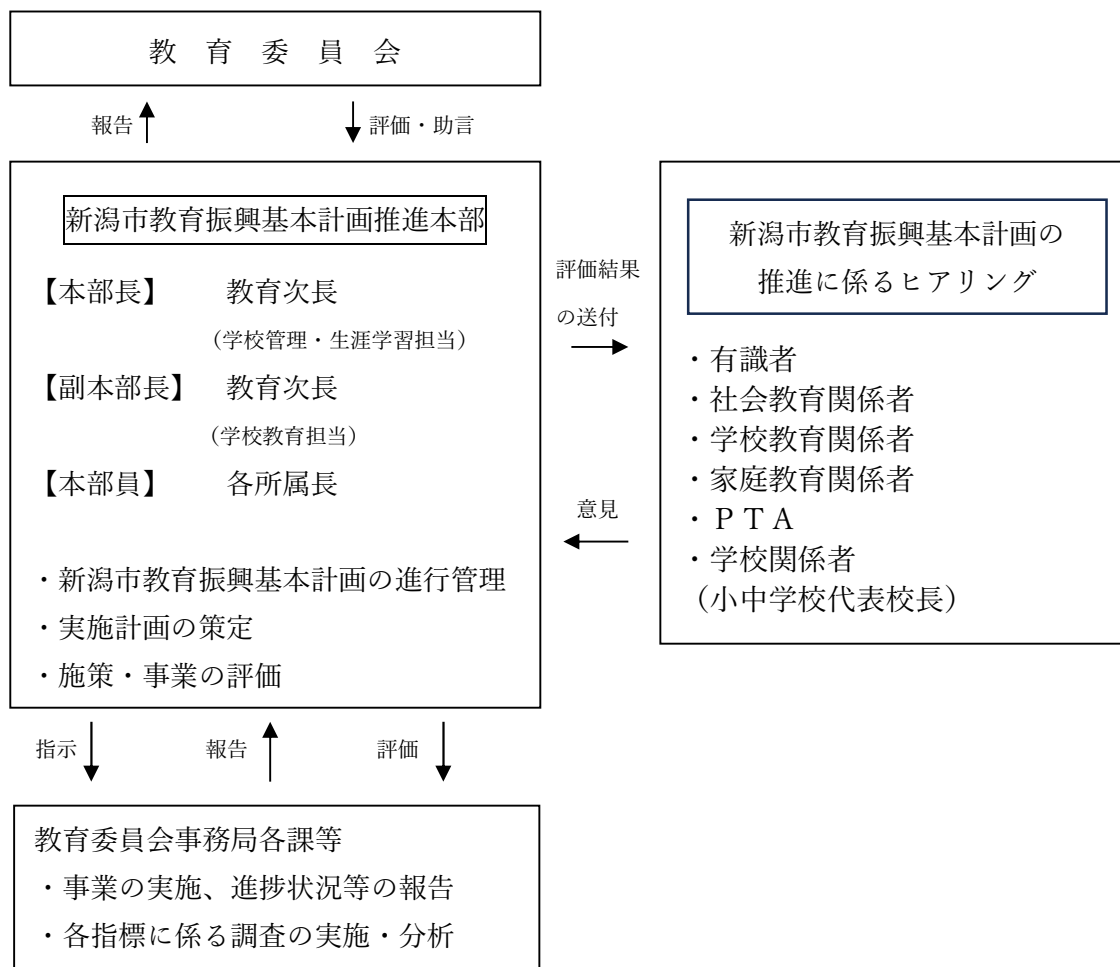
本計画は、「新潟市総合計画 2030」のほか、「こども計画」など関連する各分野の個別計画との連携性に配慮しています。



新潟市の教育が目指す人間像である「しなやかに世界と未来を創る人」の実現のために、4つの基本方針のもと14の基本施策を展開しています。計画期間を令和7年度から令和14年度までの8年間とし、実施計画の期間を前期と後期の二期にわけ、4年ずつ実施することとしています。



### 3 新潟市教育振興基本計画の推進体制



### 4 新潟市教育振興基本計画の進行管理（評価）

#### (1) 進行管理（評価）の基本理念

- ・新潟市教育振興基本計画における新潟市の教育が目指す人間像を実現するために実施する。
- ・各基本施策に設定されている指標の評価を通して、施策・事業の着実な実行や改善につながるよう努める。

#### (2) 方針

- 「指標を目標とし、目標管理を行う」
- ・アンケートや調査等の数値を根拠として評価を行う。
- ・成果や課題を分析し、事業等の改善にいかす(PDCA サイクル)。

### (3) スケジュール

| 時期     | 内容                         | 概要                                   |
|--------|----------------------------|--------------------------------------|
| 11～12月 | 新潟市教育振興基本計画<br>推進本部会議      | 基本施策に関する事業進捗状況の中間報告<br>及び事務局内で共有     |
| 3～4月   | 年度評価                       | 事務局内での年度評価作業                         |
| 6月     | 新潟市教育振興基本計画<br>の推進に係るヒアリング | 有識者等に対して年度評価に係るヒアリングを実施              |
| 7月     | 新潟市教育振興基本計画<br>推進本部会議      | 年度評価における成果や課題を事務局内で共有                |
| 7～8月   | 新潟市教育委員会<br>定例会            | 年度評価を「教育委員会の点検と評価」として教育委員会において協議・付議  |
| 9月     | 新潟市議会<br>9月定例会             | 年度評価を「教育委員会の点検と評価」として文教経済常任委員会において報告 |

### (4) 年度評価の具体的な内容

#### ①施策指標、取組指標の評価

施策指標、取組指標について総合計画 2030 の評価基準に準拠し、「A・B・C」の3段階で評価する。

| 評価 | 策定時の数値（現状値） | 当該年度の目標値 |
|----|-------------|----------|
| A  | 達成          | 達成       |
| B  | 達成          | 未達成      |
|    | 未達成         | 達成       |
| C  | 未達成         | 未達成      |

#### ②基本施策の評価

①で評価したものを基に、新潟市教育ビジョン(平成18年度～令和6年度)における評価基準を参考に、「とても順調」「順調」「おおむね順調」「やや低調」「低調」の5段階で、総合的に基本施策ごとに評価する。

|        |              |              |
|--------|--------------|--------------|
| とても順調  | 指標各項目のAの割合   | 100%         |
| 順調     | 指標各項目のA、Bの割合 | 90%以上 100%以下 |
| おおむね順調 | 指標各項目のA、Bの割合 | 70%以上 90%未満  |
| やや低調   | 指標各項目のA、Bの割合 | 60%以上 70%未満  |
| 低調     | 指標各項目のA、Bの割合 | 60%未満        |

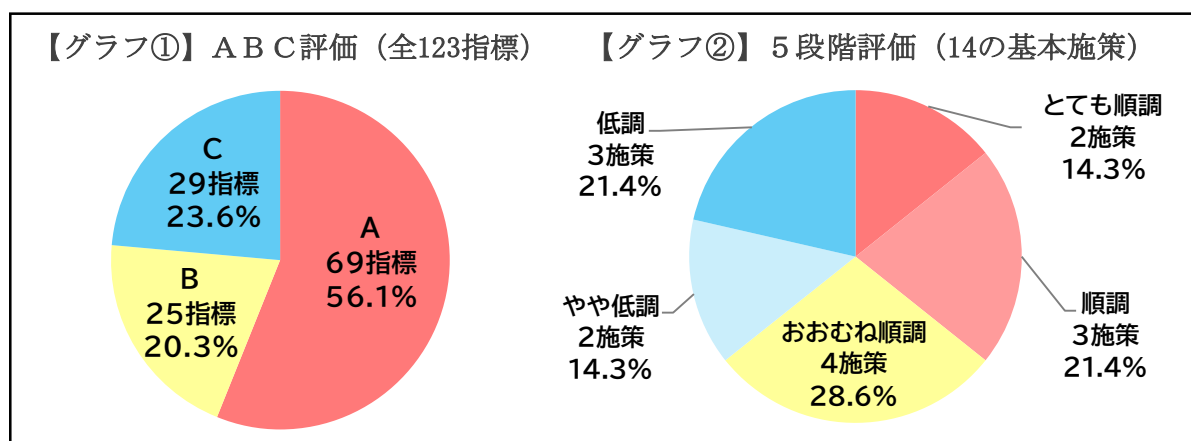
## 5 令和7年度の進捗状況総評

「新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～（以下、本計画）」は、学校教育を含む乳幼児から高齢者までの生涯を通じた学習全般を対象範囲とし、新潟市の教育が目指す人間像である「しなやかに世界と未来を創る人」の実現のために、4つの基本方針のもと14の基本施策を展開しています。

前期実施計画の初年度にあたる当年度は、全67事業を実施し、各施策指標・取組指標の3段階評価では、指標の総数123（※）に対して、評価がAまたはBだった指標は94あり、その割合は全体の76.4%となりました。【グラフ①】

（※）2025年から調査開始のため評価できなかった2項目を除く。

また、各基本施策の施策指標・取組指標の3段階評価を基に、「とても順調」「順調」「おおむね順調」「やや低調」「低調」の5段階で総合的に評価した結果、「おおむね順調」以上に達した施策は、14の基本施策中9施策となりました。【グラフ②】



### ＜基本方針ごとの主な成果と課題＞

#### 基本方針Ⅰ（基本施策1～4）

##### 生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり

「確かな学力の育成」に関連して、80%以上のこどもが「学ぶことが楽しい」、90%以上のこどもが「学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしている」と回答しています。また、教育委員会が情報提供している授業改善のポイントや好取組を踏まえて、自校の授業改善に取り組んでいる学校の割合は100%に達しており、各学校の授業改善の取組が、こどもの学ぶ意欲の醸成につながっています。一方で生涯学習分野では、活動意欲を持ちながら活躍の機会に恵まれない生涯学習ボランティア登録者がいる状況が見られます。生涯学習ボランティア自主企画講座などの事業を通して、多様な人材が活躍できる環境づくりに努めます。

|        |     |
|--------|-----|
| とても順調  |     |
| 順調     |     |
| おおむね順調 | 1施策 |
| やや低調   | 2施策 |
| 低調     | 1施策 |

## 基本方針Ⅱ（基本施策 5～8）

### 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり

90%以上のこどもが「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活している」と回答しています。学校では、道徳の授業を中心にすべての教育課程で人権教育の推進といじめの未然防止に努めています。他者とのかかわり方や自分から支援を求める力の育成を図り、一人一人のいのちを大切にした教育を一層推進していきます。一方、「創造性に富み世界とともに生きる力」にかかわって、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と思う小学生の割合や「英検 3 級以上の英語力を有する」中学生の割合に課題があります。英語力向上推進会議を設置して方策を検討するとともに、市立全中学校で英語力のアセスメントを行うなどして、改善を図ります。

|        |     |
|--------|-----|
| とても順調  | 1施策 |
| 順調     | 2施策 |
| おおむね順調 |     |
| やや低調   |     |
| 低調     | 1施策 |

## 基本方針Ⅲ（基本施策 9～11）

### 地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり

90%以上の保護者が「学校と地域が協働して『地域とともにある学校づくり』をしている」と回答しています。コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業が一体的に推進されることで、学校では多様な地域人材の参画や地域の学びの拠点づくりなどの取組が進んでいます。一方で「地域のことにふれたり、調べたりする学習は好き」と回答するこどもの割合が目標値に達していないことから、学校側のニーズと地域の有識者、企業、団体の対応可能分野、内容について情報収集を行い、連携につなげられるような体制や仕組みづくりに努めます。また、家庭教育と子育て支援においては、家庭教育学級や子育て学習出前講座の参加者の満足度が 90%に達するなど、関係機関やボランティアと連携した事業の充実が図られています。

|        |     |
|--------|-----|
| とても順調  | 1施策 |
| 順調     |     |
| おおむね順調 | 1施策 |
| やや低調   |     |
| 低調     | 1施策 |

## 基本方針Ⅳ（基本施策 12～14）

### 多様な学びを支える教育環境の整備・充実

80%以上の保護者が「教育を受ける環境（学校以外も含む）が充実している」と回答しています。本市ではこれまでも、ICT を活用した教育環境や、バリアフリー環境の整備と特別支援教育の推進など、様々な取組を進め、一定程度の成果を得てきました。今後も、安心・安全で多様な教育環境の整備を進めるとともに、就学前から社会参加まで切れ目なく支援を受けられる体制の整備や教職員への支援体制の充実による質の高い教育活動の創造と魅力ある教職員の育成に努めます。

|        |     |
|--------|-----|
| とても順調  |     |
| 順調     | 1施策 |
| おおむね順調 | 2施策 |
| やや低調   |     |
| 低調     |     |

## 6 新潟市教育振興基本計画 施策指標・取組指標の進捗状況一覧

◆ 市長部局の関連指標  
 (※1)2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力  
 (※2)2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。

| ◆ 市長部局の関連指標<br>(※1)2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力<br>(※2)2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。 |                                                                                          | 対象    | 策定時数値  | 目標値<br>(2025) | 実績<br>(2025) | 評価<br>(2025) | 最終評価       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------|---------------|--------------|--------------|------------|
| 基本方針Ⅰ 生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり                                                                    |                                                                                          |       |        |               |              |              |            |
| 基本施策1 生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援                                                                      |                                                                                          |       |        |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                  | 生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合                                            | 市民    | 16.1%  | 15.0%         | 14.2%        | C            | 低調         |
|                                                                                                       | 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合                                                   | 小6    | 76.7%  | 77.0%         | 77.8%        | A            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 71.7%  | 72.0%         | 78.5%        | A            |            |
| 取組指標                                                                                                  | 生涯学習ボランティアバンク登録件数                                                                        | 市民    | 126件   | 130件          | 102件         | C            |            |
|                                                                                                       | 「前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合 | 小学校   | 89.7%  | 91.0%         | 84.9%        | C            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中学校   | 84.5%  | 86.0%         | 87.8%        | A            |            |
|                                                                                                       | 「地域のここと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好き」と回答した児童生徒の割合                                        | 小6    | 77.8%  | 78.0%         | 77.2%        | C            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 72.3%  | 72.5%         | 69.2%        | C            |            |
|                                                                                                       | 新潟市立図書館に利用登録している市民の割合 (※1)                                                               | 市民    | 14.2%  | 14.0%         | 13.8%        | C            |            |
| 基本施策2 確かな学力の育成                                                                                        |                                                                                          |       |        |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                  | 学ぶことが楽しいと回答した児童生徒の割合                                                                     | 小6    | 現状値なし  | 70.0%         | 81.2%        | A            | おおむね<br>順調 |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 現状値なし  | 70.0%         | 81.1%        | A            |            |
|                                                                                                       | 学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合                                     | 小6    | 85.5%  | 88.0%         | 90.0%        | A            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 88.1%  | 88.0%         | 91.8%        | A            |            |
|                                                                                                       | 学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒の割合                                                  | 小6    | 83.6%  | 86.0%         | 88.1%        | A            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 81.2%  | 83.0%         | 88.0%        | A            |            |
| 取組指標                                                                                                  | 「前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合 | 小学校   | 89.7%  | 91.0%         | 84.9%        | C            |            |
|                                                                                                       | 中学校                                                                                      | 84.5% | 86.0%  | 87.8%         | A            |              |            |
|                                                                                                       | 「市教委が情報提供する授業改善のポイントや好取組を踏まえ、自校において授業を改善しているか」に肯定的に回答した学校の割合                             | 学校    | 現状値なし  | 90.0%超        | 100.0%       | A            |            |
|                                                                                                       | 外部と連携した学習・授業支援事業は、「児童生徒の基礎・基本の定着に向けた支援体制の整備・充実に効果的であった」に肯定的に回答した学校の割合                    | 学校    | 現状値なし  | 90.0%         | 98.0%        | A            |            |
|                                                                                                       | 「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合                                    | 児童生徒  | 95.3%  | 95.0%         | 97.6%        | A            |            |
|                                                                                                       | 中学校3年生のCEFR A1レベル(英検3級)以上の英語力を有する生徒の割合                                                   | 中3    | 36.2%  | 47.0%         | 34.5%        | C            |            |
| 基本施策3 キャリア教育の推進                                                                                       |                                                                                          |       |        |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                  | 将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合                                                                | 小6    | 80.7%  | 83.0%         | 82.7%        | B            | やや<br>低調   |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 64.7%  | 71.0%         | 63.8%        | C            |            |
|                                                                                                       | 総合的な学習(探究)の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合               | 小6    | 80.8%  | 81.0%         | 81.5%        | A            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 87.4%  | 88.0%         | 89.3%        | A            |            |
| 取組指標                                                                                                  | 将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合                                                                | 小6    | 80.7%  | 83.0%         | 82.7%        | B            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 64.7%  | 71.0%         | 63.8%        | C            |            |
|                                                                                                       | 地域のここと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合                                          | 小6    | 77.8%  | 78.0%         | 77.2%        | C            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 72.3%  | 72.5%         | 69.2%        | C            |            |
|                                                                                                       | 市立高等学校等における地域連携教育活動に参加した生徒数(延べ人数) (※1)                                                   | 対象生徒  | 2,217人 | 3,603人        | 4,911人       | A            |            |
|                                                                                                       | 総合的な学習(探究)の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合               | 小6    | 80.8%  | 81.0%         | 81.5%        | A            |            |
| 中3                                                                                                    |                                                                                          | 87.4% | 88.0%  | 89.3%         | A            |              |            |
| 基本施策4 体力づくり・健康づくり・食育の推進                                                                               |                                                                                          |       |        |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                  | 「運動が好きですか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合                                                            | 小5    | 90.4%  | 90.5%         | 91.0%        | A            | やや<br>低調   |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中2    | 81.9%  | 85.0%         | 84.8%        | B            |            |
|                                                                                                       | 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童生徒の割合                          | 小6    | 現状値なし  | 87.0%以上       | 81.0%        | B            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 現状値なし  | 85.0%以上       | 77.5%        | B            |            |
| ◆自分が健康だと思う市民の割合                                                                                       | 市民                                                                                       | 75.7% | —      | 77.7%         |              |              |            |
| 取組指標                                                                                                  | 1週間の総運動時間(体育授業除く)が60分未満の児童生徒の割合の減少                                                       | 小5男子  | 10.4%  | 現状値より減少       | 10.6%        | C            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 小5女子  | 18.2%  | 現状値より減少       | 18.9%        | C            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中2男子  | 10.0%  | 現状値より減少       | 11.6%        | C            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中2女子  | 23.8%  | 現状値より減少       | 25.5%        | C            |            |
|                                                                                                       | 「朝食を食べています」で「ほぼ毎日」と回答をした児童生徒の割合 (※1)                                                     | 小6    | 89.3%  | 90.2%         | 90.0%        | B            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3    | 86.2%  | 85.9%         | 86.6%        | A            |            |
|                                                                                                       | 「学校給食の時間が、児童生徒にとって安心して食事ができる時間となっているか」の問いに肯定的に回答した学校の割合                                  | 学校    | 現状値なし  | 100.0%        | 100.0%       | A            |            |

◆ 市長部局の関連指標  
 (※1)2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力  
 (※2)2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。

| 対象 | 策定時数値 | 目標値<br>(2025) | 実績<br>(2025) | 評価<br>(2025) | 最終評価 |
|----|-------|---------------|--------------|--------------|------|
|----|-------|---------------|--------------|--------------|------|

## 基本方針Ⅱ 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり

### 基本施策5 人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成

|      |                                                      |     |           |        |       |   |    |
|------|------------------------------------------------------|-----|-----------|--------|-------|---|----|
| 施策指標 | 自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合    | 小6  | 現状値<br>なし | 81.0%  | 97.4% | A | 順調 |
|      |                                                      | 中3  | 現状値<br>なし | 81.0%  | 98.4% | A |    |
|      | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合                | 小6  | 96.7%     | 100.0% | 97.1% | B |    |
|      |                                                      | 中3  | 96.1%     | 100.0% | 96.3% | B |    |
| 取組指標 | ◆自分や、周りの人の人権を意識しながら、生活している市民の割合                      | 市民  | 65.9%     | —      | 64.6% |   |    |
|      | 学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合 | 小学校 | 85.5%     | 86.0%  | 90.2% | A |    |
|      |                                                      | 中学校 | 88.1%     | 88.5%  | 91.2% | A |    |
|      | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合                | 小学校 | 85.9%     | 87.5%  | 97.6% | A |    |
|      |                                                      | 中学校 | 83.7%     | 85.0%  | 96.5% | A |    |
|      | いじめ解消率（※1）                                           | 学校  | 77.3%     | 77.8%  | 77.0% | C |    |

### 基本施策6 誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進

|      |                                                              |        |           |            |        |   |    |
|------|--------------------------------------------------------------|--------|-----------|------------|--------|---|----|
| 施策指標 | 学校生活は楽しいと肯定的に回答した児童生徒の割合                                     | 小6     | 88.6%     | 91.0%      | 90.2%  | B | 順調 |
|      |                                                              | 中3     | 90.8%     | 91.0%      | 92.7%  | A |    |
|      | 特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援や環境が整っていると回答した学校の割合                  | 学校     | 現状値<br>なし | 80.0%      | 74.0%  | B |    |
|      | 学校内外の機関から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合                       | 小学校    | 94.9%     | 100.0%     | 96.2%  | B |    |
|      |                                                              | 中学校    | 86.1%     | 100.0%     | 97.7%  | B |    |
| 取組指標 | 日本語指導を受けた幼児児童生徒の日本語能力について、向上したと回答した学校の割合                     | 学校     | 82.4%     | 87.0%      | 83.0%  | B |    |
|      | 公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営                   | —      | 現状値<br>なし | 基本構想<br>策定 | 策定済    | A |    |
|      | 学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合                      | 小学校    | 94.9%     | 100.0%     | 96.2%  | B |    |
|      |                                                              | 中学校    | 86.1%     | 100.0%     | 97.7%  | B |    |
|      | 配慮を要する幼児児童生徒等への個別的教育支援計画作成率                                  | 学校     | 69.5%     | 85.0%      | 79.5%  | B |    |
|      | 退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合    | 学校     | 現状値<br>なし | 80.0%      | 100.0% | A |    |
|      | 発達障がい通級指導教室を利用する児童生徒の中で、自校で通級による指導を受けることのできる児童生徒の割合（巡回指導を含む） | 対象児童生徒 | 35.0%     | 50.0%      | 43.4%  | B |    |

### 基本施策7 創造性に富み、世界とともに生きる力の育成

|      |                                                                                                |        |       |        |       |   |    |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|--------|-------|---|----|
| 施策指標 | 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたしてみたいと思うと回答した児童生徒の割合                                               | 小6     | 76.0% | 77.0%  | 73.1% | C | 低調 |
|      |                                                                                                | 中3     | 67.2% | 68.0%  | 74.7% | A |    |
|      | 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童生徒の割合                                               | 小6     | 82.0% | 83.0%  | 75.6% | C |    |
|      |                                                                                                | 中3     | 63.9% | 65.0%  | 68.5% | A |    |
| 取組指標 | ◆新潟市は国際的なまちだと思う市民の割合                                                                           | 市民     | 18.2% | —      | 18.7% |   |    |
|      | 新潟市サマーズイベント(イングリッシュ・デイ、高志サマーセミナー、万代高校BASS)に参加した児童生徒の満足度                                        | 対象児童生徒 | 98.0% | 100.0% | 99.0% | B |    |
|      | 「英語担当教員とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができているか」に肯定的に回答した中学校の割合（※1） | 中学校    | 96.6% | 94.9%  | 96.6% | A |    |
|      | 中学校3年生のCEFR A1レベル(英検3級)以上の英語力を有する生徒の割合                                                         | 中3     | 36.2% | 47.0%  | 34.5% | C |    |

### 基本施策8 いのちの教育・心の教育の推進

|      |                                                                  |    |           |       |       |   |           |
|------|------------------------------------------------------------------|----|-----------|-------|-------|---|-----------|
| 施策指標 | 自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合                                         | 小6 | 78.7%     | 80.5% | 82.1% | A | とても<br>順調 |
|      |                                                                  | 中3 | 78.7%     | 80.5% | 84.1% | A |           |
|      | 困りごとや不安があるとき、いつでも相談できる人がいると回答した児童生徒の割合                           | 小6 | 現状値<br>なし | 83.0% | 85.9% | A |           |
|      |                                                                  | 中3 | 現状値<br>なし | 83.0% | 89.8% | A |           |
| 取組指標 | 自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合（※2）            | 小6 | 現状値<br>なし | —     | 97.4% | * |           |
|      |                                                                  | 中3 | 現状値<br>なし | —     | 98.4% | * |           |
|      | 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合 | 小6 | 90.1%     | 91.0% | 91.6% | A |           |
|      |                                                                  | 中3 | 90.8%     | 91.0% | 94.8% | A |           |

◆ 市長部局の関連指標  
 (※1)2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力  
 (※2)2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。

| ◆市長部局の関連指標<br>(※1)2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力<br>(※2)2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。 |                                                             | 対象           | 策定時数値 | 目標値<br>(2025) | 実績<br>(2025) | 評価<br>(2025) | 最終評価       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------|-------|---------------|--------------|--------------|------------|
| 基本方針Ⅲ 地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり                                                               |                                                             |              |       |               |              |              |            |
| 基本施策9 地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進                                                                         |                                                             |              |       |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                 | 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合                    | 小6           | 59.3% | 62.5%         | 72.9%        | A            | おおむね<br>順調 |
|                                                                                                      |                                                             | 中3           | 46.9% | 50.5%         | 67.1%        | A            |            |
|                                                                                                      | 地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒の割合    | 小6           | 82.6% | 83.0%         | 87.4%        | A            |            |
|                                                                                                      |                                                             | 中3           | 80.7% | 82.0%         | 86.2%        | A            |            |
| 取組指標                                                                                                 | 学校と地域が協働して「地域とともにある学校づくり」をしていると回答した保護者の割合                   | 保護者          | 現状値なし | 80.0%         | 92.6%        | A            |            |
|                                                                                                      | コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進が実現していると回答した学校運営協議会の割合（※1） | 学校運営協議会      | 現状値なし | 97.6%         | 97.8%        | A            |            |
|                                                                                                      | こどもふれあいスクールのねらいを意識した運営をしていると回答した運営主任の割合（※1）                 | ふれあいスクール運営主任 | 現状値なし | 26.9%         | 40.5%        | A            |            |
|                                                                                                      | 地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒の割合    | 中3           | 80.7% | 82.0%         | 86.2%        | A            |            |
|                                                                                                      | こども見守り隊の参加者数の割合（※1）                                         | 見守り参加者       | 9.0%  | 8.4%          | 8.3%         | C            |            |
|                                                                                                      | 地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合              | 小6           | 77.8% | 78.0%         | 77.2%        | C            |            |
| 中3                                                                                                   |                                                             | 72.3%        | 72.5% | 69.2%         | C            |              |            |
| 基本施策10 郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進                                                                             |                                                             |              |       |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                 | 自分が住んでいるまち（地域）が好きですと回答した児童生徒の割合                             | 小6           | 現状値なし | 80.0%         | 92.4%        | A            | 低調         |
|                                                                                                      |                                                             | 中3           | 現状値なし | 80.0%         | 89.9%        | A            |            |
|                                                                                                      | 地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合              | 小6           | 77.8% | 78.0%         | 77.2%        | C            |            |
|                                                                                                      |                                                             | 中3           | 72.3% | 72.5%         | 69.2%        | C            |            |
|                                                                                                      | ◆新潟市に住み続けたい市民の割合                                            | 市民           | 88.9% | —             | 90.9%        |              |            |
|                                                                                                      | ◆新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合                                | 市民           | 88.5% | —             | 86.6%        |              |            |
| 取組指標                                                                                                 | 地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合              | 小6           | 77.8% | 78.0%         | 77.2%        | C            |            |
|                                                                                                      |                                                             | 中3           | 72.3% | 72.5%         | 69.2%        | C            |            |
|                                                                                                      | アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成された小中学生の割合                   | 児童生徒         | 95.3% | 95.0%         | 97.6%        | A            |            |
| 基本施策11 家庭教育の充実と子育て支援の充実                                                                              |                                                             |              |       |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                 | 家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる」と回答した参加者の割合                       | 市民           | 91.2% | 92.0%         | 94.6%        | A            | とても<br>順調  |
|                                                                                                      | 家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合                                    | 保護者          | 78.8% | 87.0%         | 94.0%        | A            |            |
|                                                                                                      | こどもの頑張りを認める姿勢を大切にしながら、こどものよいところを見つけて、ほめていると回答した保護者の割合       | 保護者          | 現状値なし | 90.0%         | 92.6%        | A            |            |
|                                                                                                      | ◆新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合                                    | 市民           | 70.0% | —             | —            |              |            |
| 取組指標                                                                                                 | 子育て学習出前講座保護者向けアンケートで講座の満足度が「大変良かった」「良かった」の割合（※1）            | 保護者          | 83.5% | 85.0%         | 86.4%        | A            |            |
|                                                                                                      | 「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合     | 保護者          | 現状値なし | 70.0%         | 97.4%        | A            |            |
|                                                                                                      | 家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合                                    | 保護者          | 78.8% | 87.0%         | 94.0%        | A            |            |

◆ 市長部局の関連指標  
 (※1)2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力  
 (※2)2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。

| ※ 市長部局の関連指標<br>(※1)2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力<br>(※2)2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。 |                                                                                          | 対象     | 策定時数値 | 目標値<br>(2025) | 実績<br>(2025) | 評価<br>(2025) | 最終評価       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|---------------|--------------|--------------|------------|
| 基本方針Ⅳ 多様な学びを支える教育環境の整備・充実                                                                             |                                                                                          |        |       |               |              |              |            |
| 基本施策12 安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実                                                                           |                                                                                          |        |       |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                  | 学校は安全で、安心して過ごしやすい環境であると回答した児童生徒の割合                                                       | 児童生徒   | 現状値なし | 100.0%        | 92.5%        | B            | おおむね<br>順調 |
|                                                                                                       | 教育を受ける環境(学校以外も含む)が充実していると回答した保護者の割合                                                      | 保護者    | 現状値なし | 60.0%         | 82.6%        | A            |            |
| 取組指標                                                                                                  | 配慮を要する幼児児童生徒等への個別の教育支援計画作成率                                                              | 学校     | 69.5% | 85.0%         | 79.5%        | B            |            |
|                                                                                                       | 退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合                                | 学校     | 現状値なし | 80.0%         | 100.0%       | A            |            |
|                                                                                                       | こども見守り隊の参加者数の割合 (※1)                                                                     | 見守り参加者 | 9.0%  | 8.4%          | 8.3%         | C            |            |
|                                                                                                       | 「こどもが通っている園(幼稚園、保育園、こども園)の教育(保育)に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合                                  | 保護者    | 現状値なし | 70.0%         | 97.4%        | A            |            |
|                                                                                                       | 公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営                                               | —      | 現状値なし | 基本構想策定        | 策定済          | A            |            |
|                                                                                                       | 地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した生徒の割合                                   | 中3     | 80.7% | 82.0%         | 86.2%        | A            |            |
| 基本施策13 教育DXの推進とICT環境の整備・充実                                                                            |                                                                                          |        |       |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                  | 学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合                         | 小6     | 現状値なし | 90.0%         | 86.5%        | B            | 順調         |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3     | 現状値なし | 90.0%         | 91.6%        | A            |            |
| 取組指標                                                                                                  | ICTを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合                                                          | 教職員    | 現状値なし | 93.0%         | 87.7%        | B            |            |
|                                                                                                       | 学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合                         | 小6     | 現状値なし | 90.0%         | 86.5%        | B            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中3     | 現状値なし | 90.0%         | 91.6%        | A            |            |
|                                                                                                       | ICTを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合                                                          | 教職員    | 現状値なし | 93.0%         | 87.7%        | B            |            |
| 基本施策14 職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実                                                                         |                                                                                          |        |       |               |              |              |            |
| 施策指標                                                                                                  | 主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組んでいると回答した教職員の割合                                                  | 教職員    | 現状値なし | 90.0%         | 97.2%        | A            | おおむね<br>順調 |
|                                                                                                       | 充実して仕事に取り組んでいると回答した教職員の割合                                                                | 教職員    | 現状値なし | 80.0%         | 83.6%        | A            |            |
| 取組指標                                                                                                  | 教職員研修の講師として招聘した大学教員の数                                                                    | 大学教員   | 37人   | 45人           | 49人          | A            |            |
|                                                                                                       | 「前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合 | 小学校    | 89.7% | 91.0%         | 84.9%        | C            |            |
|                                                                                                       |                                                                                          | 中学校    | 84.5% | 86.0%         | 87.8%        | A            |            |
|                                                                                                       | 充実して仕事に取り組んでいると回答した教職員の割合                                                                | 教職員    | 現状値なし | 80.0%         | 83.6%        | A            |            |
|                                                                                                       | 各研修講座における参加者の満足度                                                                         | 教職員    | 82.8% | 90.0%         | 87.9%        | B            |            |
|                                                                                                       | 各研修講座アンケートで「今後にいかすことができる」と回答した参加者の割合                                                     | 教職員    | 89.4% | 90.0%         | 92.4%        | A            |            |

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり |
|---|------------------------------|

### 基本施策

|   |                                |          |            |      |      |      |
|---|--------------------------------|----------|------------|------|------|------|
| 1 | 生涯学び続け、<br>学びをいかし活躍できる機会の充実と支援 | 最終<br>評価 | 2025<br>低調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|--------------------------------|----------|------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                   | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|--------------------------------------------------------|----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【1-1】<br>生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合 | 市民 | 16.1%     | 目標 | 15.0% | 16.0% | 17.0% | 18.0% |
|          |                                                        |    |           | 実績 | 14.2% |       |       |       |
|          |                                                        |    |           | 評価 | C     |       |       |       |
|          | 【1-2】<br>難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合         | 小6 | 76.7%     | 目標 | 77.0% | 77.0% | 78.0% | 78.0% |
|          |                                                        |    |           | 実績 | 77.8% |       |       |       |
|          |                                                        |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                        | 中3 | 71.7%     | 目標 | 72.0% | 72.0% | 73.0% | 73.0% |
|          |                                                        |    |           | 実績 | 78.5% |       |       |       |
|          |                                                        |    |           | 評価 | A     |       |       |       |

### 取組状況と成果

・生涯学習分野においては、地域や福祉施設等からの依頼に応じ公演や芸能活動などを行う生涯学習ボランティアの派遣を実施した。市民が生涯学習活動により得た技能や知識を生かした学びの成果を社会に還元できるよう支援を行った。

・学校では、すべての教育課程において、挑戦し続ける機会を充実させ、子どもたちが「失敗しても大丈夫」と互いに認め合う雰囲気や、やりたいことを皆でやり遂げようと高め合う雰囲気づくりに努めている。

## 基本施策の方向性

- 市民の主体的な学習活動を推進するため、様々な関係機関と連携しながら、時代や社会の変化、市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めます。
- 市民が生涯を通して学習した成果を人づくりや地域づくりにいかす循環型生涯学習の推進に一層力を入れていきます。
- 生涯にわたる学びの基礎となる読書習慣の定着を図るため、読書環境の整備を図ります。

## 基本施策 1 2025最終評価

低調

|                  | 指標内容                                                                                              | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【1-3】<br>生涯学習ボランティアバンク登録件数                                                                        | 市民  | 126件      | 目標  | 130件  | 135件  | 140件  | 145件  |
|                  |                                                                                                   |     |           | 実績  | 102件  |       |       |       |
|                  |                                                                                                   |     |           | 評価  | C     |       |       |       |
|                  | 【1-4】<br>「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合 | 小学校 | 89.7%     | 目標  | 91.0% | 91.0% | 92.0% | 92.0% |
|                  |                                                                                                   |     |           | 実績  | 84.9% |       |       |       |
|                  |                                                                                                   |     |           | 評価  | C     |       |       |       |
|                  |                                                                                                   | 中学校 | 84.5%     | 目標  | 86.0% | 86.0% | 87.0% | 87.0% |
|                  |                                                                                                   |     |           | 実績  | 87.8% |       |       |       |
|                  |                                                                                                   |     |           | 評価  | A     |       |       |       |
|                  | 【1-5】<br>地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合                                           | 小6  | 77.8%     | 目標  | 78.0% | 78.5% | 79.0% | 79.5% |
|                  |                                                                                                   |     |           | 実績  | 77.2% |       |       |       |
|                  |                                                                                                   |     |           | 評価  | C     |       |       |       |
|                  |                                                                                                   | 中3  | 72.3%     | 目標  | 72.5% | 73.0% | 73.5% | 74.0% |
|                  |                                                                                                   |     |           | 実績  | 69.2% |       |       |       |
|                  |                                                                                                   |     |           | 評価  | C     |       |       |       |
|                  | 【1-6】<br>新潟市立図書館に利用登録している市民の割合                                                                    | 市民  | 14.2%     | 目標* | 14.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 14.5% |
|                  |                                                                                                   |     |           | 実績  | 13.8% |       |       |       |
|                  |                                                                                                   |     |           | 評価  | C     |       |       |       |

\*2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

- ・生涯学習ボランティアの新規登録も増えているが目標値に届いていない。引き続き、生涯学習ボランティアについて理解を深める研修会や講座を実施し登録件数の増加を図る。また、活動機会の少ない登録者も活躍できる環境づくりに取り組んでいく。
  - ・インターネットの普及や市民ニーズの変化などにより、図書館の利用登録者数が年々減少している。幅広い世代に利用してもらえるよう、防災や相続といった市民の関心の高いテーマに関する展示や講座の実施、SNSを活用した情報発信などを実施していく。
- （※【1-4】→施策2で記述 【1-5】→施策10で記述）

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり |
|---|------------------------------|

### 基本施策

|   |          |          |                    |      |      |      |
|---|----------|----------|--------------------|------|------|------|
| 2 | 確かな学力の育成 | 最終<br>評価 | 2025<br>おおむね<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|----------|----------|--------------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                          | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|---------------------------------------------------------------|----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【2-1】<br>学ぶことが楽しいと回答した児童生徒の割合                                 | 小6 | 現状値<br>なし | 目標 | 70.0% | 70.0% | 70.0% | 70.0% |
|          |                                                               |    |           | 実績 | 81.2% |       |       |       |
|          |                                                               |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                               | 中3 | 現状値<br>なし | 目標 | 70.0% | 70.0% | 70.0% | 70.0% |
|          |                                                               |    |           | 実績 | 81.1% |       |       |       |
|          |                                                               |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【2-2】<br>学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合 | 小6 | 85.5%     | 目標 | 88.0% | 88.0% | 88.5% | 88.5% |
|          |                                                               |    |           | 実績 | 90.0% |       |       |       |
|          |                                                               |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                               | 中3 | 88.1%     | 目標 | 88.0% | 88.0% | 88.5% | 88.5% |
|          |                                                               |    |           | 実績 | 91.8% |       |       |       |
|          |                                                               |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【2-3】<br>学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒の割合              | 小6 | 83.6%     | 目標 | 86.0% | 86.0% | 86.0% | 86.0% |
|          |                                                               |    |           | 実績 | 88.1% |       |       |       |
|          |                                                               |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                               | 中3 | 81.2%     | 目標 | 83.0% | 83.0% | 84.0% | 84.0% |
|          |                                                               |    |           | 実績 | 88.0% |       |       |       |
|          |                                                               |    |           | 評価 | A     |       |       |       |

### 取組状況と成果

- ・教職員向けに目指す授業づくりを示した「授業づくりサポートVer.2.1」を活用するなどして、教職員は、こどもがより主体的、探究的に学習を深めるよう授業のあり方を工夫している。
- ・全国学力・学習状況調査の結果などから、こどもの実態を多面的・多角的に分析し、教職員の授業改善に生かしたり、こどもの理解力の向上につなげたりしている。
- ・外部機関との連携により、学生や一般市民による学習支援のボランティアを学校に派遣するなど、個別指導や、こどもの基礎学力の定着に向けた学習支援を行うことで、こどもの多様な学びに対応している。

## 基本施策の方向性

- 児童生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成できるよう、教育活動の支援体制の整備・充実を図ります。
- 幼児教育の質を高める取組を推進するとともに、小学校教育との円滑な接続や、小学校と中学校、中学校と高等学校の連携を進めます。
- 幼児教育から中等教育を通して、幼児の自発的な遊びを通した学びや、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるなど「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を進めます。
- こどもたちの学習の基盤となる言語能力や情報活用能力などを育成するため、学校図書館の機能を十分にいかした読書環境の整備やこどもの読書活動を推進します。

## 基本施策 2 2025最終評価

おおむね順調

|                  | 指標内容                                                                                              | 対象       | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025   | 2026   | 2027   | 2028   |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|----|--------|--------|--------|--------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【2-4】<br>「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合 | 小学校      | 89.7%     | 目標 | 91.0%  | 91.0%  | 92.0%  | 92.0%  |
|                  |                                                                                                   |          |           | 実績 | 84.9%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                   |          |           | 評価 | C      |        |        |        |
|                  |                                                                                                   | 中学校      | 84.5%     | 目標 | 86.0%  | 86.0%  | 87.0%  | 87.0%  |
|                  |                                                                                                   |          |           | 実績 | 87.8%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                   |          |           | 評価 | A      |        |        |        |
|                  | 【2-5】「市教委が情報提供する授業改善のポイントや好取組を踏まえ、自校において授業を改善しているか」に肯定的に回答した学校の割合                                 | 学校       | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0%超 | 90.0%超 | 90.0%超 | 100.0% |
|                  |                                                                                                   |          |           | 実績 | 100.0% |        |        |        |
|                  |                                                                                                   |          |           | 評価 | A      |        |        |        |
|                  | 【2-6】外部と連携した学習・授業支援事業は、「児童生徒の基礎・基本の定着に向けた支援体制の整備・充実に効果的であった」に肯定的に回答した学校の割合                        | 学校       | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0%  | 90.0%  | 90.0%  | 90.0%  |
|                  |                                                                                                   |          |           | 実績 | 98.0%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                   |          |           | 評価 | A      |        |        |        |
|                  | 【2-7】「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合                                        | 児童<br>生徒 | 95.3%     | 目標 | 95.0%  | 95.0%  | 95.0%  | 95.0%  |
|                  |                                                                                                   |          |           | 実績 | 97.6%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                   |          |           | 評価 | A      |        |        |        |
|                  | 【2-8】<br>中学校3年生のCEFR A1レベル（英検3級）以上の英語力を有する生徒の割合                                                   | 中3       | 36.2%     | 目標 | 47.0%  | 47.0%  | 50.0%  | 50.0%  |
|                  |                                                                                                   |          |           | 実績 | 34.5%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                   |          |           | 評価 | C      |        |        |        |

## 課題と今後の展開

・教職員の目指す授業への理解が深まり、授業における課題の設定や、話し合い、まとめなどの学習活動の進め方は定着しているが、自らの授業をふりかえって十分な達成をしていると感じていない教職員もいる。「授業づくりサポートVer.2.1」を活用した研修などを実施し、授業の方向性の提示や実践例の共有を通して、主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善を推進していく。

（※【2-8】→施策7で記述）

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり |
|---|------------------------------|

### 基本施策

|   |           |          |                  |      |      |      |
|---|-----------|----------|------------------|------|------|------|
| 3 | キャリア教育の推進 | 最終<br>評価 | 2025<br>やや<br>低調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|-----------|----------|------------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                                                | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【3-1】<br>将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合                                                  | 小6 | 80.7%     | 目標 | 83.0% | 84.0% | 85.0% | 86.0% |
|          |                                                                                     |    |           | 実績 | 82.7% |       |       |       |
|          |                                                                                     |    |           | 評価 | B     |       |       |       |
|          |                                                                                     | 中3 | 64.7%     | 目標 | 71.0% | 72.0% | 73.0% | 74.0% |
|          |                                                                                     |    |           | 実績 | 63.8% |       |       |       |
|          |                                                                                     |    |           | 評価 | C     |       |       |       |
|          | 【3-2】<br>総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合 | 小6 | 80.8%     | 目標 | 81.0% | 81.0% | 83.0% | 83.0% |
|          |                                                                                     |    |           | 実績 | 81.5% |       |       |       |
|          |                                                                                     |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                                                     | 中3 | 87.4%     | 目標 | 88.0% | 88.0% | 89.0% | 89.0% |
|          |                                                                                     |    |           | 実績 | 89.3% |       |       |       |
|          |                                                                                     |    |           | 評価 | A     |       |       |       |

### 取組状況と成果

・こどもが「食」と「農」をテーマに自ら課題を設定し、地域探究・体験事業として、校外学習や専門家の話を聴き、情報を収集、整理、分析してまとめ、発表をする「食と農のわくわくSDGs学習」の実践校が増加した。

・小中学校での、多様な職業の方の講話や職場・勤労体験学習、市立高等学校での地域奉仕活動など、地域連携教育活動や、地域の企業、有識者との連携がより一層図られている。

## 基本施策の方向性

- 児童生徒が夢や希望に向かって挑戦し続けることができるよう、学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育を推進します。
- 児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、将来、社会的・職業的に自立し、様々な人とかわかり、自分らしく生きる資質・能力を育みます。

## 基本施策 3 2025最終評価

やや低調

|                  | 指標内容                                                                                | 対象       | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025   | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|-----|--------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【3-3】<br>将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合                                                  | 小6       | 80.7%     | 目標  | 83.0%  | 84.0% | 85.0% | 86.0% |
|                  |                                                                                     |          |           | 実績  | 82.7%  |       |       |       |
|                  |                                                                                     |          |           | 評価  | B      |       |       |       |
|                  |                                                                                     | 中3       | 64.7%     | 目標  | 71.0%  | 72.0% | 73.0% | 74.0% |
|                  |                                                                                     |          |           | 実績  | 63.8%  |       |       |       |
|                  |                                                                                     |          |           | 評価  | C      |       |       |       |
|                  | 【3-4】<br>地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合                             | 小6       | 77.8%     | 目標  | 78.0%  | 78.5% | 79.0% | 79.5% |
|                  |                                                                                     |          |           | 実績  | 77.2%  |       |       |       |
|                  |                                                                                     |          |           | 評価  | C      |       |       |       |
|                  |                                                                                     | 中3       | 72.3%     | 目標  | 72.5%  | 73.0% | 73.5% | 74.0% |
|                  |                                                                                     |          |           | 実績  | 69.2%  |       |       |       |
|                  |                                                                                     |          |           | 評価  | C      |       |       |       |
|                  | 【3-5】<br>市立高等学校等における地域連携教育活動に参加した生徒数（延べ人数）                                          | 対象<br>生徒 | 2,217人    | 目標* | 3,603人 | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|                  |                                                                                     |          |           | 実績  | 4,911人 |       |       |       |
|                  |                                                                                     |          |           | 評価  | A      |       |       |       |
|                  | 【3-6】<br>総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合 | 小6       | 80.8%     | 目標  | 81.0%  | 81.0% | 83.0% | 83.0% |
|                  |                                                                                     |          |           | 実績  | 81.5%  |       |       |       |
|                  |                                                                                     |          |           | 評価  | A      |       |       |       |
|                  |                                                                                     | 中3       | 87.4%     | 目標  | 88.0%  | 88.0% | 89.0% | 89.0% |
|                  |                                                                                     |          |           | 実績  | 89.3%  |       |       |       |
|                  |                                                                                     |          |           | 評価  | A      |       |       |       |

\*2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

・「夢や目標を持っている」と回答したこどもの割合は、学年が上がるにつれて減少する傾向にある。学校における、地域の企業や団体などの外部機関との連携や、職業体験の充実により、こどもが自身の活動の記録・蓄積、振り返りを通して自己理解を深め、将来のキャリア形成に役立つような取組を推進していく。また、こどもが未来に対して前向き、かつ、具体的な目標をもって意欲的に課題などに取り組む姿勢を育んでいく。

（※【3-4】→施策10で記述）

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり |
|---|------------------------------|

### 基本施策

|   |                   |          |                  |      |      |      |
|---|-------------------|----------|------------------|------|------|------|
| 4 | 体力づくり・健康づくり・食育の推進 | 最終<br>評価 | 2025<br>やや<br>低調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|-------------------|----------|------------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                                             | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025    | 2026    | 2027    | 2028    |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|----|---------|---------|---------|---------|
|          | 【4-1】<br>「運動が好きですか」に対して肯定的に回答した<br>児童生徒の割合                                       | 小5 | 90.4%     | 目標 | 90.5%   | 90.5%   | 91.0%   | 91.0%   |
|          |                                                                                  |    |           | 実績 | 91.0%   |         |         |         |
|          |                                                                                  |    |           | 評価 | A       |         |         |         |
|          |                                                                                  | 中2 | 81.9%     | 目標 | 85.0%   | 85.0%   | 86.0%   | 86.0%   |
|          |                                                                                  |    |           | 実績 | 84.8%   |         |         |         |
|          |                                                                                  |    |           | 評価 | B       |         |         |         |
|          | 【4-2】<br>健康に過ごすために、授業で学習したことや保健<br>室の先生などから教えられたことを、普段の生活<br>に役立てていると回答した児童生徒の割合 | 小6 | 現状値<br>なし | 目標 | 87.0%以上 | 87.0%以上 | 87.0%以上 | 87.0%以上 |
|          |                                                                                  |    |           | 実績 | 81.0%   |         |         |         |
|          |                                                                                  |    |           | 評価 | B       |         |         |         |
|          |                                                                                  | 中3 | 現状値<br>なし | 目標 | 85.0%以上 | 85.0%以上 | 85.0%以上 | 85.0%以上 |
|          |                                                                                  |    |           | 実績 | 77.5%   |         |         |         |
|          |                                                                                  |    |           | 評価 | B       |         |         |         |
|          | 【4-3】<br>◆自分が健康だと思う市民の割合                                                         | 市民 | 75.7%     | 目標 | —       | ※       | —       | —       |
|          |                                                                                  |    |           | 実績 | 77.7%   |         |         |         |

※「新潟市総合計画2030」において、中間目標(2026)は「現状値を上回る」、最終目標(2030)は「中間値を上回る」と設定されている。

◆関連指標：市長部局で設定している指標

### 取組状況と成果

- ・中学校では、スクールランチ方式であった学校においても、食缶方式による全員給食化が実現され、すべての生徒に温かい給食を提供できるようになった。
- ・こどもが自らの健康や食に関心をもち、主体的な健康づくりを行うきっかけとなるよう、フッ化物洗口や巡回歯科指導のほか、地場産朝食レシコンテスト、小4・中1の希望者を対象とした生活習慣病健診の実施など、食育・健康づくりの推進に努めた。
- ・こどもや保護者が健康や食に関心をもつことができるよう、これらの取組を引き続き推進していく。

## 基本施策の方向性

- 学校と家庭・地域が連携し、児童生徒が、運動の大切さや楽しさを知ることのできる環境を整えることで、健やかな身体を育みます。
- 市民が自らの心身の健康に関心を持ち、健康の保持増進、疾病の予防など、生涯にわたって健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援します。
- 児童生徒の性と健康に関する普及啓発・相談支援に係る取組の充実を図ります。
- 児童生徒がバランスのよい食事や正しい食事マナー、食物の大切さなどを理解し、望ましい食習慣を身に付けられるよう、家庭や地域と連携した食に関する指導を推進します。
- 食育の生きた教材となる学校給食の充実を図ります。

## 基本施策 4 2025最終評価

やや低調

|                  | 指標内容                                                         | 対象       | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025    | 2026     | 2027     | 2028     |
|------------------|--------------------------------------------------------------|----------|-----------|-----|---------|----------|----------|----------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【4-4】<br>1週間の総運動時間（体育授業除く）が60分未満の児童生徒の割合の減少                  | 小5<br>男子 | 10.4%     | 目標  | 現状値より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 |
|                  |                                                              |          |           | 実績  | 10.6%   |          |          |          |
|                  |                                                              |          |           | 評価  | C       |          |          |          |
|                  |                                                              | 小5<br>女子 | 18.2%     | 目標  | 現状値より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 |
|                  |                                                              |          |           | 実績  | 18.9%   |          |          |          |
|                  |                                                              |          |           | 評価  | C       |          |          |          |
|                  |                                                              | 中2<br>男子 | 10.0%     | 目標  | 現状値より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 |
|                  |                                                              |          |           | 実績  | 11.6%   |          |          |          |
|                  |                                                              |          |           | 評価  | C       |          |          |          |
|                  |                                                              | 中2<br>女子 | 23.8%     | 目標  | 現状値より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 | 前年割合より減少 |
|                  |                                                              |          |           | 実績  | 25.5%   |          |          |          |
|                  |                                                              |          |           | 評価  | C       |          |          |          |
|                  | 【4-5】<br>「朝食を食べています」で「ほぼ毎日」と回答をした児童生徒の割合                     | 小6       | 89.3%     | 目標* | 90.2%   | 前年度以上    | 前年度以上    | 100.0%   |
|                  |                                                              |          |           | 実績  | 90.0%   |          |          |          |
|                  |                                                              |          |           | 評価  | B       |          |          |          |
|                  |                                                              | 中3       | 86.2%     | 目標* | 85.9%   | 前年度以上    | 前年度以上    | 100.0%   |
|                  |                                                              |          |           | 実績  | 86.6%   |          |          |          |
|                  |                                                              |          |           | 評価  | A       |          |          |          |
|                  | 【4-6】「学校給食の時間が、児童生徒にとって安心して食事ができる時間となっているか」の問いに肯定的に回答した学校の割合 | 学校       | 現状値<br>なし | 目標  | 100.0%  | 100.0%   | 100.0%   | 100.0%   |
|                  |                                                              |          |           | 実績  | 100.0%  |          |          |          |
|                  |                                                              |          |           | 評価  | A       |          |          |          |

\*2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

・「運動が好き」と回答していることも多い反面、体育の授業以外での運動する機会や時間の減少に課題がある。学校において、こどもの健康の保持増進のために、「運動大好き体力向上ジャンプアッププロジェクト」をより一層推進し、授業以外でも運動する意欲や運動時間の増加につなげていく。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| II | 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり |
|----|------------------------------------|

### 基本施策

|   |                     |          |            |      |      |      |
|---|---------------------|----------|------------|------|------|------|
| 5 | 人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成 | 最終<br>評価 | 2025<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|---------------------|----------|------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                       | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025   | 2026   | 2027   | 2028   |
|----------|------------------------------------------------------------|----|-----------|----|--------|--------|--------|--------|
|          | 【5-1】<br>自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合 | 小6 | 現状値<br>なし | 目標 | 81.0%  | 81.0%  | 82.0%  | 82.0%  |
|          |                                                            |    |           | 実績 | 97.4%  |        |        |        |
|          |                                                            |    |           | 評価 | A      |        |        |        |
|          |                                                            | 中3 | 現状値<br>なし | 目標 | 81.0%  | 81.0%  | 82.0%  | 82.0%  |
|          |                                                            |    |           | 実績 | 98.4%  |        |        |        |
|          |                                                            |    |           | 評価 | A      |        |        |        |
|          | 【5-2】<br>いじめは、どんな理由があってもいけないことだ<br>と思うと回答した児童生徒の割合         | 小6 | 96.7%     | 目標 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|          |                                                            |    |           | 実績 | 97.1%  |        |        |        |
|          |                                                            |    |           | 評価 | B      |        |        |        |
|          |                                                            | 中3 | 96.1%     | 目標 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|          |                                                            |    |           | 実績 | 96.3%  |        |        |        |
|          |                                                            |    |           | 評価 | B      |        |        |        |
|          | 【5-3】◆自分や、周りの人の人権を意識しながら、生活している市民の割合                       | 市民 | 65.9%     | 目標 | —      | 67.0%  | —      | —      |
|          |                                                            |    |           | 実績 | 64.6%  |        |        |        |

※「新潟市総合計画2030」において、最終目標（2030）は「70.0%」と設定されている。

◆関連指標：市長部局で設定している指標

### 取組状況と成果

- ・学校では、道徳の授業を中心に、すべての教育課程において人権教育を推進している。また、こどもが互いに認め合い、高め合う集団風土の醸成により、多様性を認め合う心の育成が図られている。
- ・公民館では、誰もが安心して自分らしく生きられる社会づくりを目指して、こどもから大人まで幅広い世代が多様性を尊重し、他者に対する理解を深めるための講座などを実施した。

## 基本施策の方向性

- 市民がともに生きる喜びや幸せな生活が実感できるように、性別、世代、障がいの有無、国籍、習慣、文化、考え方など、人にはそれぞれ違いがあることを理解し、互いの権利を尊重する教育を推進します。
- 全ての市民がこどもの権利を理解し、幼少期から差別や偏見のない社会を実現するため、未来を展望した教育や社会参加と相互理解を図る活動を推進します。
- 「いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どのこどもにも起こりうる」という認識にたち、誰もが安心して過ごすことのできる環境づくりを進めます。

## 基本施策 5 2025最終評価

順調

|                  | 指標内容                                                          | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|---------------------------------------------------------------|-----|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【5-4】<br>学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合 | 小学校 | 85.5%     | 目標  | 86.0% | 86.5% | 87.0% | 87.5% |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 90.2% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | A     |       |       |       |
|                  |                                                               | 中学校 | 88.1%     | 目標  | 88.5% | 89.0% | 89.5% | 90.0% |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 91.2% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | A     |       |       |       |
|                  | 【5-5】<br>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合                | 小学校 | 85.9%     | 目標  | 87.5% | 88.0% | 88.5% | 89.0% |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 97.6% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | A     |       |       |       |
|                  |                                                               | 中学校 | 83.7%     | 目標  | 85.0% | 85.5% | 86.0% | 86.5% |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 96.5% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | A     |       |       |       |
|                  | 【5-6】<br>いじめ解消率                                               | 学校  | 77.3%     | 目標* | 77.8% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 77.0% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | C     |       |       |       |

\*2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

- ・国が定める「いじめ解消」の判定は、3か月間の経過観察期間を設けることとしているが、R7年度は前年度に比べて1月～3月期におけるいじめの認知件数が増加し、年度末までに解消したと判定できなかった件数が増えたことから、いじめ解消率が低下した。この期間のいじめ事案については、新年度への引継ぎを確実にし、4月～12月に発生した事案同様、学級編制や支援体制の再構築により、確実にいじめ解消に取り組む。
- ・こどもが自身で考え、適切な判断をして行動できるよう、各学校でいじめ未然防止対策を推進し、いじめの初期対応・組織対応を徹底していく。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| II | 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり |
|----|------------------------------------|

### 基本施策

|   |                                  |          |            |      |      |      |
|---|----------------------------------|----------|------------|------|------|------|
| 6 | 誰一人取り残さない、<br>一人一人の可能性を引き出す教育の推進 | 最終<br>評価 | 2025<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|----------------------------------|----------|------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                     | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025   | 2026   | 2027   | 2028   |
|----------|----------------------------------------------------------|-----|-----------|----|--------|--------|--------|--------|
|          | 【6-1】<br>学校生活は楽しいと肯定的に回答した児童生徒の割合                        | 小6  | 88.6%     | 目標 | 91.0%  | 91.0%  | 91.0%  | 91.0%  |
|          |                                                          |     |           | 実績 | 90.2%  |        |        |        |
|          |                                                          |     |           | 評価 | B      |        |        |        |
|          |                                                          | 中3  | 90.8%     | 目標 | 91.0%  | 91.0%  | 91.0%  | 91.0%  |
|          |                                                          |     |           | 実績 | 92.7%  |        |        |        |
|          |                                                          |     |           | 評価 | A      |        |        |        |
|          | 【6-2】<br>特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援<br>や環境が整っていると回答した学校の割合 | 学校  | 現状値<br>なし | 目標 | 80.0%  | 前年度以上  | 前年度以上  | 前年度以上  |
|          |                                                          |     |           | 実績 | 74.0%  |        |        |        |
|          |                                                          |     |           | 評価 | B      |        |        |        |
|          | 【6-3】<br>学校内外の機関から相談・指導等を受けた、または<br>受けている不登校児童生徒の割合      | 小学校 | 94.9%     | 目標 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|          |                                                          |     |           | 実績 | 96.2%  |        |        |        |
|          |                                                          |     |           | 評価 | B      |        |        |        |
|          |                                                          | 中学校 | 86.1%     | 目標 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|          |                                                          |     |           | 実績 | 97.7%  |        |        |        |
|          |                                                          |     |           | 評価 | B      |        |        |        |

### 取組状況と成果

- ・学校では、すべてのこどもが分け隔てなく共に学び合えるよう、インクルーシブ教育システムの推進など、こどもの実態やニーズに応じて誰一人取り残さない支援体制の整備を図っている。
- ・県内初となる公立夜間中学の令和9年4月の開校に向け、「新潟市立夜間中学設置基本計画」を策定し、学校説明会などの広報活動や生徒募集、教育課程の検討が進んでいる。
- ・生涯学習センターや公民館では、一室または共有スペースを「こどもの居場所」として開放し、こどもが安心して自由に過ごすことができる場を提供している。

## 基本施策の方向性

- 自らの可能性を発揮しながら学び育つことができるよう、一人一人の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進めます。
- 心の小さなSOSを見逃さず、全ての児童生徒が安心して学びに向かうことができる環境づくりを進めます。
- 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実させるなど、「自分らしく学び成長する」特別支援教育を推進します。
- 活字での学習や読書に困難を抱える市民に対し、一人一人のニーズに応じた読書環境の整備を推進します。

## 基本施策 6 2025最終評価

順調

|                  | 指標内容                                                              | 対象             | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025   | 2026    | 2027    | 2028    |
|------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------|-----------|----|--------|---------|---------|---------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【6-4】<br>日本語指導を受けた幼児児童生徒の日本語能力について、向上したと回答した学校の割合                 | 学校             | 82.4%     | 目標 | 87.0%  | 90.0%   | 93.0%   | 95.0%   |
|                  |                                                                   |                |           | 実績 | 83.0%  |         |         |         |
|                  |                                                                   |                |           | 評価 | B      |         |         |         |
|                  | 【6-5】<br>公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営               | —              | 現状値<br>なし | 目標 | 基本構想策定 | 開校準備・開校 | 開校準備・開校 | 開校準備・開校 |
|                  |                                                                   |                |           | 実績 | 策定済    |         |         |         |
|                  |                                                                   |                |           | 評価 | A      |         |         |         |
|                  | 【6-6】<br>学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合                  | 小学校            | 94.9%     | 目標 | 100.0% | 100.0%  | 100.0%  | 100.0%  |
|                  |                                                                   |                |           | 実績 | 96.2%  |         |         |         |
|                  |                                                                   |                |           | 評価 | B      |         |         |         |
|                  |                                                                   | 中学校            | 86.1%     | 目標 | 100.0% | 100.0%  | 100.0%  | 100.0%  |
|                  |                                                                   |                |           | 実績 | 97.7%  |         |         |         |
|                  |                                                                   |                |           | 評価 | B      |         |         |         |
|                  | 【6-7】<br>配慮を要する幼児児童生徒等への個別的教育支援計画作成率                              | 学校             | 69.5%     | 目標 | 85.0%  | 90.0%   | 前年度以上   | 95.0%   |
|                  |                                                                   |                |           | 実績 | 79.5%  |         |         |         |
|                  |                                                                   |                |           | 評価 | B      |         |         |         |
|                  | 【6-8】退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合    | 学校             | 現状値<br>なし | 目標 | 80.0%  | 85.0%   | 88.0%   | 90.0%   |
|                  |                                                                   |                |           | 実績 | 100.0% |         |         |         |
|                  |                                                                   |                |           | 評価 | A      |         |         |         |
|                  | 【6-9】発達障がい通級指導教室を利用する児童生徒の中で、自校で通級による指導を受けることのできる児童生徒の割合（巡回指導を含む） | 対象<br>児童<br>生徒 | 35.0%     | 目標 | 50.0%  | 60.0%   | 70.0%   | 80.0%   |
|                  |                                                                   |                |           | 実績 | 43.4%  |         |         |         |
|                  |                                                                   |                |           | 評価 | B      |         |         |         |

## 課題と今後の展開

- ・様々な課題を抱えるこどもを福祉の視点でサポートする、スクールソーシャルワーカー（SSW）への相談件数が増加している。
- ・自分のペースで学校生活を送り、学習や教育相談の支援を受けるためのスペシャルサポートルーム（SSR）を設置した学校の割合は全国平均を上回っているが、こどもが安心できる居場所としてすべての学校で設置が必要なことから、拡充を図っていく。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| II | 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり |
|----|------------------------------------|

### 基本施策

|   |                      |          |            |      |      |      |
|---|----------------------|----------|------------|------|------|------|
| 7 | 創造性に富み、世界とともに生きる力の育成 | 最終<br>評価 | 2025<br>低調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|----------------------|----------|------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                               | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|--------------------------------------------------------------------|----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【7-1】<br>外国の人と友達になったり、外国のことについて<br>もっと知ったりしてみたいと思うと回答した児童<br>生徒の割合 | 小6 | 76.0%     | 目標 | 77.0% | 77.0% | 78.0% | 78.0% |
|          |                                                                    |    |           | 実績 | 73.1% |       |       |       |
|          |                                                                    |    |           | 評価 | C     |       |       |       |
|          |                                                                    | 中3 | 67.2%     | 目標 | 68.0% | 68.0% | 69.0% | 69.0% |
|          |                                                                    |    |           | 実績 | 74.7% |       |       |       |
|          |                                                                    |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【7-2】<br>日本やあなたが住んでいる地域のことについて、<br>外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童生<br>徒の割合  | 小6 | 82.0%     | 目標 | 83.0% | 83.0% | 84.0% | 84.0% |
|          |                                                                    |    |           | 実績 | 75.6% |       |       |       |
|          |                                                                    |    |           | 評価 | C     |       |       |       |
|          |                                                                    | 中3 | 63.9%     | 目標 | 65.0% | 65.0% | 66.0% | 66.0% |
|          |                                                                    |    |           | 実績 | 68.5% |       |       |       |
|          |                                                                    |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【7-3】<br>◆新潟市は国際的なまちだと思ふ市民の割合                                      | 市民 | 18.2%     | 目標 | —     | 30.0% | —     | —     |
|          |                                                                    |    |           | 実績 | 18.7% |       |       |       |

※「新潟市総合計画2030」において、最終目標（2030）は「50.0%」と設定されている。

◆関連指標：市長部局で設定している指標

### 取組状況と成果

- ・ 中学校では、日頃の英語の授業に加え、イングリッシュセミナーといった交流イベントなどでALTとの関わりが充実したことで、異文化理解の促進と言語運用能力向上につながっている。
- ・ 友好都市中国ハルビン市へのこどもの交流派遣や、韓国ウルサン市の学校とのオンライン交流会の実施など、諸外国のこどもたちとの交流も進んでいる。

## 基本施策の方向性

- 日本や諸外国の歴史や文化、伝統、習慣、価値観などに対する理解を深めるとともに、諸外国の人々と互いに信頼関係を構築できるような教育を推進します。
- 様々な考えをもつ人たちとよりよい社会や地域を創造するために、協働しながら新たな価値を創造する力を育成します。

## 基本施策 7 2025最終評価

低調

|                  | 指標内容                                                                                            | 対象             | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025   | 2026   | 2027   | 2028   |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【7-4】新潟市サマーイベント（イングリッシュ・デイ、高志サマーセミナー、万代高校BASS）に参加した児童生徒の満足度                                     | 対象<br>児童<br>生徒 | 98.0%     | 目標  | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                  |                                                                                                 |                |           | 実績  | 99.0%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                 |                |           | 評価  | B      |        |        |        |
|                  | 【7-5】「英語担当教員とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができているか」に肯定的に回答した中学校の割合 | 中学校            | 96.6%     | 目標* | 94.9%  | 前年度以上  | 前年度以上  | 前年度以上  |
|                  |                                                                                                 |                |           | 実績  | 96.6%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                 |                |           | 評価  | A      |        |        |        |
|                  | 【7-6】<br>中学校3年生のCEFR A1レベル（英検3級）以上の英語力を有する生徒の割合                                                 | 中3             | 36.2%     | 目標  | 47.0%  | 47.0%  | 50.0%  | 50.0%  |
|                  |                                                                                                 |                |           | 実績  | 34.5%  |        |        |        |
|                  |                                                                                                 |                |           | 評価  | C      |        |        |        |

\*2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

- ・小学校では、コミュニケーション意欲の育成に重要なALTの派遣回数、他自治体と比較して少ないため、こどもが諸外国への関心を高められるよう、一層の増員が必要である。
- ・ALTを活用し、3つの英語セミナーの内容を工夫することを通して、「英語の力を使ってみよう」「英語の学習が重要だ」という意識の醸成に努める。
- ・英語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）をバランスよく高めながら、アウトプットを重視した授業改善が必要である。研修会や情報発信を通して、教職員の授業力を高め、こどもが諸外国の人々と相互に理解し合おうとする姿勢の向上を図っていく。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| II | 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり |
|----|------------------------------------|

### 基本施策

|   |                |          |                   |      |      |      |
|---|----------------|----------|-------------------|------|------|------|
| 8 | いのちの教育・心の教育の推進 | 最終<br>評価 | 2025<br>とても<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|----------------|----------|-------------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                            | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|-------------------------------------------------|----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【8-1】<br>自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合               | 小6 | 78.7%     | 目標 | 80.5% | 81.0% | 81.5% | 82.0% |
|          |                                                 |    |           | 実績 | 82.1% |       |       |       |
|          |                                                 |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                 | 中3 | 78.7%     | 目標 | 80.5% | 81.0% | 81.5% | 82.0% |
|          |                                                 |    |           | 実績 | 84.1% |       |       |       |
|          |                                                 |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【8-2】<br>困りごとや不安があるとき、いつでも相談できる人がいると回答した児童生徒の割合 | 小6 | 現状値<br>なし | 目標 | 83.0% | 84.0% | 85.0% | 86.0% |
|          |                                                 |    |           | 実績 | 85.9% |       |       |       |
|          |                                                 |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                 | 中3 | 現状値<br>なし | 目標 | 83.0% | 84.0% | 85.0% | 86.0% |
|          |                                                 |    |           | 実績 | 89.8% |       |       |       |
|          |                                                 |    |           | 評価 | A     |       |       |       |

### 取組状況と成果

- ・学校では、すべての教育課程において、一人一人のいのちを大切にする教育が推進され、他者との関わり方や寄り添い方、自分から支援を求める力の育成を図っている。また、こどもを認めたり価値付けたりすることを通してこどもの自己肯定感の向上を促し、豊かな人間性、社会性が育まれる授業づくりを進めている。
- ・関係機関と連携し、悩みを抱えるこどものサインにいち早く気づき、適切な対応ができるよう「ゲートキーパー研修」を継続して実施している。

## 基本施策の方向性

- 一人一人の存在は唯一無二であることから、自分や相手のいのちを大切に  
する心の教育を推進します。
- 心身の発達に応じ、自分や相手を尊重する心や豊かな人間性、社会性を身に  
付ける教育を推進します。
- 自信と誇りをもって生きることができる教育を推進します。

## 基本施策 8 2025最終評価

とても順調

|                  | 指標内容                                                                              | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【8-3】<br>自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大<br>切にしたりしながら生活していると回答した児童<br>生徒の割合                | 小 6 | 現状値<br>なし | 目標 | —     | 前年度以上 | 前年度以上 | 84.0% |
|                  |                                                                                   |     |           | 実績 | 97.4% |       |       |       |
|                  |                                                                                   |     |           | 評価 | *     |       |       |       |
|                  |                                                                                   | 中 3 | 現状値<br>なし | 目標 | —     | 前年度以上 | 前年度以上 | 84.0% |
|                  |                                                                                   |     |           | 実績 | 98.4% |       |       |       |
|                  |                                                                                   |     |           | 評価 | *     |       |       |       |
|                  | 【8-4】<br>「道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級や<br>グループで話し合ったりする活動に取り組んでい<br>ますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合 | 小 6 | 90.1%     | 目標 | 91.0% | 91.0% | 92.0% | 92.0% |
|                  |                                                                                   |     |           | 実績 | 91.6% |       |       |       |
|                  |                                                                                   |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|                  |                                                                                   | 中 3 | 90.8%     | 目標 | 91.0% | 91.0% | 92.0% | 92.0% |
|                  |                                                                                   |     |           | 実績 | 94.8% |       |       |       |
|                  |                                                                                   |     |           | 評価 | A     |       |       |       |

\* 2025から調査開始のため評価不能、2025の実績をもとに2026以降の目標とする。

## 課題と今後の展開

- ・学校において、いじめの未然防止に向けた道徳の授業が一層推進され、また、誰かとつながっている実  
感をもてるよう、「SOSの出し方授業」「生命（いのち）の安全教育」などを展開していく。
- ・「ゲートキーパー研修」に、より多くの教職員の参加を促し、対応力の向上に努めていく。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|     |                                  |
|-----|----------------------------------|
| III | 地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり |
|-----|----------------------------------|

### 基本施策

|   |                        |          |                    |      |      |      |
|---|------------------------|----------|--------------------|------|------|------|
| 9 | 地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進 | 最終<br>評価 | 2025<br>おおむね<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|---|------------------------|----------|--------------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                                      | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|---------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【9-1】<br>地域や社会をよくするために何をすべきかを考える<br>ことがあると回答した児童生徒の割合                     | 小6  | 59.3%     | 目標 | 62.5% | 64.0% | 65.5% | 67.0% |
|          |                                                                           |     |           | 実績 | 72.9% |       |       |       |
|          |                                                                           |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                                           | 中3  | 46.9%     | 目標 | 50.5% | 52.0% | 52.5% | 54.0% |
|          |                                                                           |     |           | 実績 | 67.1% |       |       |       |
|          |                                                                           |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【9-2】<br>地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、<br>認められたりして、うれしいと覚えることがある<br>と回答した児童生徒の割合 | 小6  | 82.6%     | 目標 | 83.0% | 84.0% | 85.0% | 86.0% |
|          |                                                                           |     |           | 実績 | 87.4% |       |       |       |
|          |                                                                           |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                                           | 中3  | 80.7%     | 目標 | 82.0% | 83.0% | 84.0% | 85.0% |
|          |                                                                           |     |           | 実績 | 86.2% |       |       |       |
|          |                                                                           |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【9-3】<br>学校と地域が協働して「地域とともにある学校づ<br>くり」をしていると回答した保護者の割合                    | 保護者 | 現状値<br>なし | 目標 | 80.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                                           |     |           | 実績 | 92.6% |       |       |       |
|          |                                                                           |     |           | 評価 | A     |       |       |       |

### 取組状況と成果

- ・「地域とともにある学校づくり」の充実に向けて、コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業を一体的に推進することで、学校と地域が連携する機会が増えている。
- ・地域クラブ活動の推進方針を積極的に周知したことにより、団体リスト掲載数が増加し、こどもと地域の大人が関わる機会が充実してきている。
- ・公民館では、多世代交流や、社会性の育成を目的とした体験活動を実施しており、こどもが地域の良さや、伝統文化に触れるきっかけになっている。

## 基本施策の方向性

- 「地域とともにある学校」を目指し、地域と学校が共通の目標をもって、学校、家庭、地域、社会教育施設をつなぐネットワークづくりをさらに進め、協働して事業ができるよう推進します。
- 保護者や地域住民、地域のコミュニティ、関係機関や専門機関などと協働し、社会の変化に応じた教育活動の改善を進めます。
- 地域の専門的な技能や経験をもつ人材、企業等の協力により、地域の特色をいかした豊かな体験活動や多様な学習機会の充実を図ります。

## 基本施策 9 2025最終評価

おおむね順調

|                  | 指標内容                                                                  | 対象                   | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025  | 2026  | 2027  | 2028   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------|-----|-------|-------|-------|--------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【9-4】コミュニティ・スクールと地域と学校<br>パートナーシップ事業の一体的推進が実現してい<br>ると回答した学校運営協議会の割合  | 学校<br>運営<br>協議会      | 現状値<br>なし | 目標* | 97.6% | 前年度以上 | 前年度以上 | 100.0% |
|                  |                                                                       |                      |           | 実績  | 97.8% |       |       |        |
|                  |                                                                       |                      |           | 評価  | A     |       |       |        |
|                  | 【9-5】<br>こどもふれあいスクールのねらいを意識した運営<br>をしていると回答した運営主任の割合                  | ふれあい<br>スクール<br>運営主任 | 現状値<br>なし | 目標* | 26.9% | 前年度以上 | 前年度以上 | 100.0% |
|                  |                                                                       |                      |           | 実績  | 40.5% |       |       |        |
|                  |                                                                       |                      |           | 評価  | A     |       |       |        |
|                  | 【9-6】地域や学校で先生以外の大人からほめ<br>られたり、認められたりして、うれしいと感じる<br>ことがあると回答した児童生徒の割合 | 中 3                  | 80.7%     | 目標  | 82.0% | 83.0% | 84.0% | 85.0%  |
|                  |                                                                       |                      |           | 実績  | 86.2% |       |       |        |
|                  |                                                                       |                      |           | 評価  | A     |       |       |        |
|                  | 【9-7】<br>こども見守り隊の参加者数の割合                                              | 見守り<br>参加者           | 9.0%      | 目標* | 8.4%  | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上  |
|                  |                                                                       |                      |           | 実績  | 8.3%  |       |       |        |
|                  |                                                                       |                      |           | 評価  | C     |       |       |        |
|                  | 【9-8】<br>地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれた<br>り、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒<br>の割合       | 小 6                  | 77.8%     | 目標  | 78.0% | 78.5% | 79.0% | 79.5%  |
|                  |                                                                       |                      |           | 実績  | 77.2% |       |       |        |
|                  |                                                                       |                      |           | 評価  | C     |       |       |        |
|                  |                                                                       | 中 3                  | 72.3%     | 目標  | 72.5% | 73.0% | 73.5% | 74.0%  |
|                  |                                                                       |                      |           | 実績  | 69.2% |       |       |        |
|                  |                                                                       |                      |           | 評価  | C     |       |       |        |

\*2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

- ・高齢化などを理由にこども見守り隊の辞退が増加している。学校、PTA、地域の理解を促進し、連携しながらボランティア確保を目指していく。
  - ・地域クラブ活動については、持続可能な活動ができるように今後も支援を継続していく。
  - ・公民館の講座については、単発型のものが多いが、学びを深められるよう内容を改善しながら、次世代の地域の担い手づくりに向けて、今後も継続して実施していく。
- (※【9-8】→施策10で記述)

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|     |                                  |
|-----|----------------------------------|
| III | 地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり |
|-----|----------------------------------|

### 基本施策

|    |                   |          |            |      |      |      |
|----|-------------------|----------|------------|------|------|------|
| 10 | 郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進 | 最終<br>評価 | 2025<br>低調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|----|-------------------|----------|------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                     | 対象 | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|----------------------------------------------------------|----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【10-1】<br>自分が住んでいるまち（地域）が好きだと回答した児童生徒の割合                 | 小6 | 現状値<br>なし | 目標 | 80.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                          |    |           | 実績 | 92.4% |       |       |       |
|          |                                                          |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          |                                                          | 中3 | 現状値<br>なし | 目標 | 80.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                          |    |           | 実績 | 89.9% |       |       |       |
|          |                                                          |    |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【10-2】<br>地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合 | 小6 | 77.8%     | 目標 | 78.0% | 78.5% | 79.0% | 79.5% |
|          |                                                          |    |           | 実績 | 77.2% |       |       |       |
|          |                                                          |    |           | 評価 | C     |       |       |       |
|          |                                                          | 中3 | 72.3%     | 目標 | 72.5% | 73.0% | 73.5% | 74.0% |
|          |                                                          |    |           | 実績 | 69.2% |       |       |       |
|          |                                                          |    |           | 評価 | C     |       |       |       |
|          | 【10-3】<br>◆新潟市に住み続けたい市民の割合                               | 市民 | 88.9%     | 目標 | —     | 90.0% | —     | —     |
|          | 【10-4】◆新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合                       | 市民 | 88.5%     | 実績 | 90.9% |       |       |       |
|          |                                                          |    |           | 目標 | —     | 90.0% | —     | —     |
|          |                                                          |    |           | 実績 | 86.6% |       |       |       |

※「新潟市総合計画2030」において、最終目標（2030）は「90.0%」と設定されている。

◆関連指標：市長部局で設定している指標

### 取組状況と成果

- ・「アグリ・スタディ・プログラム」や「食と農のわくわくSDGs学習」などの取組によって、こどもの郷土への誇りや愛着が醸成されている。
- ・学校図書館や身近な地域の図書館で、様々な郷土資料が閲覧できることも、郷土への理解が深まる要因となっている。特に新津図書館では、開館100周年を記念して、郷土をテーマにした講演会を開催し、郷土の歴史に親しむ機会を提供した。こうした取組を通して、郷土の歴史や文化に触れる機会を設けることで、郷土に誇りや愛着をもつことができるよう、引き続き取組を推進していく。

## 基本施策の方向性

- 本市の未来を担う児童生徒が、自分たちの住む郷土新潟市を広く知り、愛着をもてるよう、学校教育活動と社会教育活動の連携・協働を図り、地域の魅力や課題を知る学習を推進します。
- 地域と連携しながら、児童生徒が地域の歴史、伝統文化を体感できる活動を創出するとともに、郷土の歴史・文化に関する資料を収集し、広く市民に提供します。
- 市内の各地域がもつ文化資源や、優れた音楽、芸術などに触れることを通して、郷土の歴史・文化に親しむ心を育みます。
- 本市の農業のすばらしさに気付き、郷土新潟市への誇りや愛着、生きる力を培うとともに、豊かな食の恵みに感謝し、いのちや人の絆を大切にする心を育みます。

## 基本施策10 2025最終評価

低調

|                  | 指標内容                                                     | 対象       | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|----------------------------------------------------------|----------|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【10-5】<br>地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合 | 小6       | 77.8%     | 目標 | 78.0% | 78.5% | 79.0% | 79.5% |
|                  |                                                          |          |           | 実績 | 77.2% |       |       |       |
|                  |                                                          |          |           | 評価 | C     |       |       |       |
|                  |                                                          | 中3       | 72.3%     | 目標 | 72.5% | 73.0% | 73.5% | 74.0% |
|                  |                                                          |          |           | 実績 | 69.2% |       |       |       |
|                  |                                                          |          |           | 評価 | C     |       |       |       |
|                  | 【10-6】<br>アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成された小中学生の割合      | 児童<br>生徒 | 95.3%     | 目標 | 95.0% | 95.0% | 95.0% | 95.0% |
|                  |                                                          |          |           | 実績 | 97.6% |       |       |       |
|                  |                                                          |          |           | 評価 | A     |       |       |       |

## 課題と今後の展開

- ・「自分が住んでいるまちが好き」と回答したこどもに対して、「地域のことについてふれたり、調べたりすることが好き」と回答したこどもの割合が低い。こどもが自分の住む地域に興味をもち、郷土への誇りや愛着を育むことができるよう、学校において、総合的な学習の時間を中心に、探究的な学習を一層推進していく。
- ・「アグリ・スタディ・プログラム」や「食と農のわくわくSDGs学習」などを推進し、学校教育活動と社会教育活動の連携・協働を図りながら、こどもが地域の魅力に触れたり、調べたりする学習を進めていく。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|     |                                  |
|-----|----------------------------------|
| III | 地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり |
|-----|----------------------------------|

### 基本施策

|    |                  |          |                   |      |      |      |
|----|------------------|----------|-------------------|------|------|------|
| 11 | 家庭教育の充実と子育て支援の充実 | 最終<br>評価 | 2025<br>とても<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|----|------------------|----------|-------------------|------|------|------|

|          | 指標内容                                                       | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|------------------------------------------------------------|-----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
| 施策<br>指標 | 【11-1】<br>家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる」と回答した参加者の割合            | 市民  | 91.2%     | 目標 | 92.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                            |     |           | 実績 | 94.6% |       |       |       |
|          |                                                            |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【11-2】<br>家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合                         | 保護者 | 78.8%     | 目標 | 87.0% | —     | 88.0% | —     |
|          |                                                            |     |           | 実績 | 94.0% |       |       |       |
|          |                                                            |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【11-3】こどもの頑張りを認める姿勢を大切にしながら、こどものよいところを見つけて、ほめていと回答した保護者の割合 | 保護者 | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                            |     |           | 実績 | 92.6% |       |       |       |
|          |                                                            |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【11-4】◆新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合                             | 市民  | 70.0%     | 目標 | —     | 77.0% | —     | —     |
|          |                                                            |     |           | 実績 | —     |       |       |       |

※「新潟市総合計画2030」において、最終目標（2030）は「80.0%」と設定されている。

◆関連指標：市長部局で設定している指標

### 取組状況と成果

・公民館では、子育ての段階に応じた「家庭教育学級」や「子育てサロン」を開催し、年間で延べ2万人を超える参加があった。「子育てサロン」では、子育て中の保護者が意見交換や情報共有ができる場を提供した。保護者同士のつながりづくりや家庭教育力の向上を図り、安心して子育てができる環境づくりに取り組んだ。

・図書館では、1歳誕生歯科健診の会場での「ブックスタート事業」や、読書週間イベントなどの様々な事業を通して、家庭での読み聞かせについて働きかけを行い、こどもの読書環境整備を進めた。

## 基本施策の方向性

- 家庭の教育力の向上に向け、学校と家庭及び地域と家庭の連携を推進します。
- 子育て中の保護者が安心して子育てをできるよう、家庭教育に関する学習の機会や悩みを共有できる仲間づくりの支援などの充実を図ります。
- 乳幼児期からの家庭での読書習慣を形成するために、図書館と保育施設などが連携し、発達段階に応じた効果的な取組を進めます。

## 基本施策11 2025最終評価

とても順調

|                  | 指標内容                                                          | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|---------------------------------------------------------------|-----|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【11-5】子育て学習出前講座保護者向けアンケートで講座の満足度が「大変良かった」「良かった」の割合            | 保護者 | 83.5%     | 目標* | 85.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 86.0% |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 86.4% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | A     |       |       |       |
|                  | 【11-6】「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合 | 保護者 | 現状値<br>なし | 目標  | 70.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 80.0% |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 97.4% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | A     |       |       |       |
|                  | 【11-7】<br>家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合                            | 保護者 | 78.8%     | 目標  | 87.0% | —     | 88.0% | —     |
|                  |                                                               |     |           | 実績  | 94.0% |       |       |       |
|                  |                                                               |     |           | 評価  | A     |       |       |       |

\* 2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

- ・少子化の影響で、家庭教育学級の参加者が減少傾向にあり、公民館の家庭教育支援を、一層充実させていく必要がある。多忙で家庭教育を学ぶことが少ない保護者が学校に多く集まる機会を生かした「子育て学習出前講座」などを通して、今後も多くの保護者へ家庭教育の大切さを伝えていく。
- ・「ブックスタート事業」での保護者アンケート結果では、子育て支援に関連する図書館事業の認知度が低いことが分かった。保育施設や子育て支援施設との連携を図るとともに、乳児連れの来館を支援する「赤ちゃんタイム」などの事業周知を行うなど、子育て世代が利用しやすい環境整備に努めていく。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|    |                     |
|----|---------------------|
| IV | 多様な学びを支える教育環境の整備・充実 |
|----|---------------------|

### 基本施策

|    |                      |          |                    |      |      |      |
|----|----------------------|----------|--------------------|------|------|------|
| 12 | 安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実 | 最終<br>評価 | 2025<br>おおむね<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|----|----------------------|----------|--------------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                          | 対象       | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025   | 2026   | 2027   | 2028   |
|----------|-----------------------------------------------|----------|-----------|----|--------|--------|--------|--------|
|          | 【12-1】<br>学校は安全で、安心して過ごしやすい環境であると回答した児童生徒の割合  | 児童<br>生徒 | 現状値<br>なし | 目標 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|          |                                               |          |           | 実績 | 92.5%  |        |        |        |
|          |                                               |          |           | 評価 | B      |        |        |        |
|          | 【12-2】<br>教育を受ける環境（学校以外も含む）が充実していると回答した保護者の割合 | 保護者      | 現状値<br>なし | 目標 | 60.0%  | 前年度以上  | 前年度以上  | 70.0%  |
|          |                                               |          |           | 実績 | 82.6%  |        |        |        |
|          |                                               |          |           | 評価 | A      |        |        |        |

### 取組状況と成果

・学校だけではなく、公民館や図書館などの生涯学習施設においても、学びの場づくりなどの取組や、学びに向かう土台となる教育環境の整備と充実が図られている。

・市立幼稚園長と市立保育園長との合同会議体を設置するなど、園種を超えた職員交流の機会を増やし、互いの幼児教育・保育についての研究が前進した。今後も保護者が安心して子どもを通わせることができるよう、幼稚園と保育園の交流を深め、市全体の幼児教育・保育の質の向上を図っていく。

## 基本施策の方向性

- 経済的理由により就学の機会が失われることがないように、教育機会の確保に向けた取組を行います。
- 市民一人一人や家庭、地域の状況に応じた学びの場づくりなどの取組や、学びに向かう土台となる教育環境の整備・充実を図ります。
- 地域クラブ活動については、生徒の望ましい成長を促進できるよう、地域においてスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保とその環境の整備・充実を図ります。

## 基本施策12 2025最終評価

おおむね順調

|                  | 指標内容                                                                    | 対象         | 策定時<br>数値 | 年度  | 2025   | 2026    | 2027    | 2028    |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|-----|--------|---------|---------|---------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【12-3】<br>配慮を要する幼児児童生徒等への個別的教育支援<br>計画作成率                               | 学校         | 69.5%     | 目標  | 85.0%  | 90.0%   | 前年度以上   | 95.0%   |
|                  |                                                                         |            |           | 実績  | 79.5%  |         |         |         |
|                  |                                                                         |            |           | 評価  | B      |         |         |         |
|                  | 【12-4】退職教員を配置したサポート実施校<br>への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働<br>き方改革に寄与したと回答した学校の割合 | 学校         | 現状値<br>なし | 目標  | 80.0%  | 85.0%   | 88.0%   | 90.0%   |
|                  |                                                                         |            |           | 実績  | 100.0% |         |         |         |
|                  |                                                                         |            |           | 評価  | A      |         |         |         |
|                  | 【12-5】<br>こども見守り隊の参加者数の割合                                               | 見守り<br>参加者 | 9.0%      | 目標* | 8.4%   | 前年度以上   | 前年度以上   | 前年度以上   |
|                  |                                                                         |            |           | 実績  | 8.3%   |         |         |         |
|                  |                                                                         |            |           | 評価  | C      |         |         |         |
|                  | 【12-6】「こどもが通っている園（幼稚園、<br>保育園、こども園）の教育（保育）に満足してい<br>る」と肯定的に回答した保護者の割合   | 保護者        | 現状値<br>なし | 目標  | 70.0%  | 前年度以上   | 前年度以上   | 80.0%   |
|                  |                                                                         |            |           | 実績  | 97.4%  |         |         |         |
|                  |                                                                         |            |           | 評価  | A      |         |         |         |
|                  | 【12-7】<br>公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画<br>等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営                | —          | 現状値<br>なし | 目標  | 基本構想策定 | 開校準備・開校 | 開校準備・開校 | 開校準備・開校 |
|                  |                                                                         |            |           | 実績  | 策定済    |         |         |         |
|                  |                                                                         |            |           | 評価  | A      |         |         |         |
|                  | 【12-8】地域や学校で先生以外の大人からほ<br>められたり、認められたりして、うれしいと感じ<br>ることがあると回答した生徒の割合    | 中3         | 80.7%     | 目標  | 82.0%  | 83.0%   | 84.0%   | 85.0%   |
|                  |                                                                         |            |           | 実績  | 86.2%  |         |         |         |
|                  |                                                                         |            |           | 評価  | A      |         |         |         |

\*2025目標値は「前年度以上」表記だったため2024実績値を入力

## 課題と今後の展開

- ・老朽化した施設設備の改修や、バリアフリー環境の整備などを進め、すべてのこどもが安心安全に学ぶことができるよう、多様な学びを支える教育環境の整備と充実を推進する。
  - ・特別な支援が必要なこどもが、就学前から社会参加まで、切れ目なく支援を受けられる体制整備のために、個別的教育支援計画のさらなる活用推進に向けて、支援計画の有効な活用事例などを発信していく。
- （※【12-5】→施策9で記述）

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|    |                     |
|----|---------------------|
| IV | 多様な学びを支える教育環境の整備・充実 |
|----|---------------------|

### 基本施策

|    |                     |          |            |      |      |      |
|----|---------------------|----------|------------|------|------|------|
| 13 | 教育DXの推進とICT環境の整備・充実 | 最終<br>評価 | 2025<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|----|---------------------|----------|------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                                                       | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|----------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【13-1】<br>学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合 | 小6  | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                                            |     |           | 実績 | 86.5% |       |       |       |
|          |                                                                            |     |           | 評価 | B     |       |       |       |
|          |                                                                            | 中3  | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                                            |     |           | 実績 | 91.6% |       |       |       |
|          |                                                                            |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【13-2】<br>ICTを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合                                  | 教職員 | 現状値<br>なし | 目標 | 93.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                                            |     |           | 実績 | 87.7% |       |       |       |
|          |                                                                            |     |           | 評価 | B     |       |       |       |

### 取組状況と成果

・GIGAスクール運営支援センターや、ICT支援員を効果的に活用することで、機器の管理や教職員への授業支援など、学校へのサポート体制が推進されている。

・ICTを活用した公開授業や協議会を実施し、端末やクラウドを活用した先進的な実践を発信することで、個別最適な学びの具体化が進むなど、教職員の授業改善につながっている。

## 基本施策の方向性

- 児童生徒が、学びのコミュニケーションツールとしてICT機器を活用できるよう、状況に応じた環境の整備や教職員研修の充実を図ります。さらに、デジタルシティズンシップ教育を推進します。
- 効率的・効果的な業務を行えるよう、ICT機器を活用した校務支援の整備・充実を図ります。
- ICT機器を活用し、学校と図書館、公民館など様々な関係施設と連携を図ります。
- 図書館においては、非来館型の読書サービスである電子書籍の提供やオンラインでの利用申請などデジタル技術を活用したサービスの充実を図ります。

## 基本施策13 2025最終評価

順調

|                  | 指標内容                                                                       | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【13-3】<br>学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合 | 小6  | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|                  |                                                                            |     |           | 実績 | 86.5% |       |       |       |
|                  |                                                                            |     |           | 評価 | B     |       |       |       |
|                  |                                                                            | 中3  | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|                  |                                                                            |     |           | 実績 | 91.6% |       |       |       |
|                  |                                                                            |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|                  | 【13-4】<br>ICTを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合                                  | 教職員 | 現状値<br>なし | 目標 | 93.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|                  |                                                                            |     |           | 実績 | 87.7% |       |       |       |
|                  |                                                                            |     |           | 評価 | B     |       |       |       |

## 課題と今後の展開

・ICT機器を活用した授業実践については、タブレットの利用頻度などで学校間や授業者による差があることから、教職員へのICT活用に関する情報提供や資料提示を行い、研修を充実させることで、ICT機器を等しく適切に活用できるよう、教職員の指導力向上に努める。

## 7 新潟市教育振興基本計画 基本施策別進捗状況一覧

### 基本方針

|    |                     |
|----|---------------------|
| IV | 多様な学びを支える教育環境の整備・充実 |
|----|---------------------|

### 基本施策

|    |                        |          |                    |      |      |      |
|----|------------------------|----------|--------------------|------|------|------|
| 14 | 職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実 | 最終<br>評価 | 2025<br>おおむね<br>順調 | 2026 | 2027 | 2028 |
|----|------------------------|----------|--------------------|------|------|------|

| 施策<br>指標 | 指標内容                                              | 対象  | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|----------|---------------------------------------------------|-----|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
|          | 【14-1】<br>主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組んでいると回答した教職員の割合 | 教職員 | 現状値<br>なし | 目標 | 90.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                   |     |           | 実績 | 97.2% |       |       |       |
|          |                                                   |     |           | 評価 | A     |       |       |       |
|          | 【14-2】<br>充実して仕事に取り組んでいると回答した教職員の割合               | 教職員 | 現状値<br>なし | 目標 | 80.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|          |                                                   |     |           | 実績 | 83.6% |       |       |       |
|          |                                                   |     |           | 評価 | A     |       |       |       |

### 取組状況と成果

・研修のオンライン化や指導案などをデジタルコンテンツとして共有することで、教職員が効果的に専門性を向上できる研修体制の整備が進んでいる。

・教頭マネジメント支援員や教員業務支援員を継続して配置するなど、教職員が自らの業務に専念できる環境づくりを進めたほか、学校園、教育委員会、保護者、地域が一体となった働き方改革を推進するなど、教職員が心身の健康を保ちながら、充実してこどもと向き合うことができるよう努めている。

## 基本施策の方向性

- 教育関係職員が効果的に専門性を向上できる支援体制を整えるとともに、それぞれのよさを十分に発揮できる支援体制の充実を図ります。
- 全ての教職員がいきいきと子どもたちと向き合うため、学校園、教育委員会、保護者、地域が一体となった教職員の働き方改革を推進します。
- 教職員の心身の健康の保持増進への支援の充実を図ります。

## 基本施策14 2025最終評価

おおむね順調

|                  | 指標内容                                                                                               | 対象       | 策定時<br>数値 | 年度 | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
| 取<br>組<br>指<br>標 | 【14-3】<br>教職員研修の講師として招聘した大学教員の数                                                                    | 大学<br>教員 | 37人       | 目標 | 45人   | 45人   | 47人   | 47人   |
|                  |                                                                                                    |          |           | 実績 | 49人   |       |       |       |
|                  |                                                                                                    |          |           | 評価 | A     |       |       |       |
|                  | 【14-4】<br>「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合 | 小学校      | 89.7%     | 目標 | 91.0% | 91.0% | 92.0% | 92.0% |
|                  |                                                                                                    |          |           | 実績 | 84.9% |       |       |       |
|                  |                                                                                                    |          |           | 評価 | C     |       |       |       |
|                  |                                                                                                    | 中学校      | 84.5%     | 目標 | 86.0% | 86.0% | 87.0% | 87.0% |
|                  |                                                                                                    |          |           | 実績 | 87.8% |       |       |       |
|                  |                                                                                                    |          |           | 評価 | A     |       |       |       |
|                  | 【14-5】<br>充実して仕事に取り組んでいると回答した教職員の割合                                                                | 教職員      | 現状値<br>なし | 目標 | 80.0% | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
|                  |                                                                                                    |          |           | 実績 | 83.6% |       |       |       |
|                  |                                                                                                    |          |           | 評価 | A     |       |       |       |
|                  | 【14-6】<br>各研修講座における参加者の満足度                                                                         | 教職員      | 82.8%     | 目標 | 90.0% | 90.0% | 90.0% | 90.0% |
|                  |                                                                                                    |          |           | 実績 | 87.9% |       |       |       |
|                  |                                                                                                    |          |           | 評価 | B     |       |       |       |
|                  | 【14-7】<br>各研修講座アンケートで「今後にいかすことができる」と回答した参加者の割合                                                     | 教職員      | 89.4%     | 目標 | 90.0% | 90.0% | 90.0% | 90.0% |
|                  |                                                                                                    |          |           | 実績 | 92.4% |       |       |       |
|                  |                                                                                                    |          |           | 評価 | A     |       |       |       |

## 課題と今後の展開

・社会情勢の変化やこどものニーズの多様化により、教職員に求められる能力も複雑化している。大学教員を招聘して講座を開催したり、対話とリフレクションを重視した質の高い研修を実施したりするなど、様々な視点から、教職員の資質・能力の向上につながるような支援体制の充実に努めていく。